

知立市観光振興計画  
施策評価

2022年12月

# 知立市観光振興計画の施策評価について

知立市観光振興計画の策定から5年が経過したことに伴い、計画に記載する施策の達成状況について、評価を行いました。

評価にあたっては、策定時の知立市観光振興計画中の「アクションプラン」に基づき、各施策の取組主体へ、施策の進捗状況を照会し、その結果を取りまとめて記載しています。

## 評価シートの見方

### (1)方針

基本方針ごとにシートを分けて記載しています。

### (2)取組主体

アクションプラン中の取組主体を記載しています。取組主体のうち、行政は各施策に関する課を記載しています。観光関連事業者、商工事業者、市民団体、JAなど、については計画中に具体的な定めがないため、策定時の状況等から以下の団体に照会を行いました。

取組主体	照会先
観光関連事業者	名古屋鉄道株式会社、株式会社 キャッチネットワーク
商工事業者	知立市商店街連合会
市民団体	八橋旧蹟保存会、知立公園花菖蒲育成会、弘栄会、 知立まつり関係者（知立山車連合保存会、知立まつり惣代長）、 知立市観光ガイドボランティアの会、寺の市関係者、 一般社団法人 ゆめナビジャパン、一般社団法人 知立青年会議所
JAなど	JAとして記載：JAあいち中央 農業従事者として記載：株式会社アグリ知立

また、知立市文化協会は策定時の取組主体にはありませんが、施策へ取り組んでいただいているため、照会を行いました。

なお、策定時に主な取組主体とされてる団体には◆を付記しています。

### (3)基本方針の内容と展開する施策

基本方針の内容と取り組むべき施策を記載しています。

### (4)施策と取組の具体例

アクションプランに記されている施策と取組の具体例を記載しています。

### (5)取組内容

2017年度から2021年度までの間に実施した取組について記載しています。

### (6)成果

事業を実施したことによる効果・実績などを記載しています。

### (7)評価

成果の分析などを行っています。

### (8)今後の方向性

新たな課題や今後取り組むべき方向性について記載しています。

方針	基本方針(1)観光資源の保全・魅力の発掘・創出・磨き上げ	基本方針の内容と展開する施策
取組主体	行政（企画政策課、経済課、都市計画課、まちづくり課、都市開発課、文化課、生涯学習スポーツ課）	知立市内に現存する歴史文化的な観光資源について、保全を第一としつつ、その活用を図ります。 活用にあたっては、以下の施策を展開します。 <展開する施策> ・市民が観光資源の魅力を再発見・新発見できる施策。 ・若者や子育て世代にとって魅力的な場を創出し、来訪者へ地域資源を生かした交流・体験の場を提供する施策。 ・来訪者にとって、地域資源のわかりやすさ、親しみやすさ、利便性、娯楽性を高める施策。
	観光協会、文化協会、商工会、市民団体、観光関連事業者、商工事業者、JAなど、企業	

※取組主体のうち、策定時のアクションプランで主な取組主体とされてる団体については、◆を付記。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>1. 伊勢物語（平安時代）：伊勢物語に記された八橋かきつばたのいわれを学ぶ</b>						
<b>(1)かきつばた園の整備</b> ・かきつばたの生育状況を改善するための池の再整備 ・史跡等を活かし、四季を通じて楽しめる庭園整備	◆行政	経済課	・愛知県の協力の下、「知立市八橋かきつばた再生協議会」を立ち上げ、再生計画について検討しました。（2017年度～2021年度） ・再生計画に基づき、井戸の新設工事（2017年度）かきつばた池の土壌入替工事を実施しました。（2017年度～2021年度）	<b>【八橋かきつばた園来場者数】</b> 2017年度：156,360人 2018年度：104,660人（生育不良によりまつり中止） 2019年度：154,970人 2020年度：10,060人（新型コロナウイルス感染症によりまつり中止） 2021年度：44,000人（新型コロナウイルス感染症によりまつり規模縮小） ・2019年度に土の入れ替えをした14号、15号池については、草丈も伸び花の咲きも良くなっていると保存団体、愛知県からも意見をいただきました。	・「知立市八橋かきつばた再生協議会」、また、愛知県西三河農林水産事務所 農業改良普及課と連携を取ることで、かきつばたの再生に向けて継続的に取り組んでいます。 ・土の入れ替えをした池について、生育状況が改善している池もあれば効果が見られない池もあり、土以外の観点からも生育状況を改善するための策を検討する必要があります。	・「知立市八橋かきつばた再生協議会」を通じて、引き続き池の再整備及びかきつばたの生育状況の改善に努めます。
<b>(2)体験プログラムの開発</b> ・平安装束の着付けや和歌（かるた）大会などの文化体験プログラム	◆市民団体		<八橋旧蹟保存会> ・特になし	<八橋旧蹟保存会> ・特になし	<八橋旧蹟保存会> ・取組を行っていないため、評価は困難です。	<八橋旧蹟保存会> ・文化体験プログラムの開発・実施について、市や観光協会から依頼があった際には協力していきたいと考えています。
		行政	経済課	・特になし	・特になし	・体験プログラムの開発に至っていませんが、来訪者の満足度を高め、リピーターを増やすためにも、八橋かきつばた園を訪れた方が楽しめる体験プログラムの開発は重要であると考えています。
		文化課	・特になし	・特になし	・地域資源を生かすための磨き上げとして体験プログラムの創出は有意義と考えます。	・無量壽寺の本堂及び庫裏について建造物としての価値づけを行うことにより、建造物内での体験イベントの促進につなげたいと考えます。
	観光協会		・特になし	・特になし	・体験プログラムの開発に至っていませんが、来訪者の満足度を高め、リピーターを増やすためにも、八橋かきつばた園を訪れた方が楽しめる体験プログラムの開発は重要であると考えています。	・史跡八橋かきつばたまつりの来場者を楽しんでもらえるような体験プログラムの開発・作成に努めます。
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>1. 伊勢物語（平安時代）：伊勢物語に記された八橋かきつばたのいわれを学ぶ</b>						
<b>(3)八橋史跡保存館の利用の促進</b> ・尾形光琳「燕子花図屏風」（複製）「八橋蒔絵螺鈿硯箱」（複製）の活用 ・スマートフォン等で利用できる音声ガイドの導入 ・見やすくわかりやすいキャプションの設置	◆行政	経済課	・2017年度以前から、継続的に、史跡八橋かきつばた祭り期間中に、「燕子花図屏風（複製）」「八橋蒔絵螺鈿硯箱（複製）」を展示しました。 ・2017年度に、東京国立博物館と、尾形光琳「八橋蒔絵螺鈿硯箱」に関連するグッズの販売委託契約を結び、史跡八橋かきつばた祭りにおいて販売を行い、八橋史跡保存館への来場者数を増やす試みを行いました。	【八橋史跡保存館 来館者数】 2017年度：1,202人 2018年度：516人 2019年度：982人 2020年度：27人（新型コロナウイルス感染症による閉館あり） 2021年度：649人 ・2017年度に比べ、2021年度の来館者は46%減少しました。	・かきつばたの生育不良や新型コロナウイルス感染症の影響による祭りの中止もありましたが、2017年度に比べ来館者が年々減少しているため、利用を促進するための展示内容の工夫や、効果的なPR方法の検討を行う必要があります。 ・音声ガイドの導入や、キャプションの設置については対応できていません。	・今後も、史跡八橋かきつばたまつり期間中に、「燕子花図屏風（複製）」及び「八橋蒔絵螺鈿硯箱（複製）」の展示を継続していくとともに、リピーターにも楽しんでいただけるような展示を検討します。 ・文化財等の保護の観点から、2020年度より祭り期間以外の開館を原則休止しています。今後も文化財等の保護を第一としますが、まつり期間中以外にも八橋の歴史に触れていただけるよう、利用の促進に向け取り組みます。
		文化課	・特になし	・特になし	・尾形光琳による作品紹介に加え、無量壽寺に残されてきた売茶翁関係資料をはじめとする資料についての調査や保全、わかりやすい説明が必要であると考えます。	・無量壽寺所蔵資料の調査研究、解説コンテンツの作成に努めます。
	観光協会	・2017年度以前から継続的に、史跡八橋かきつばた祭り期間中に、「燕子花図屏風（複製）」「八橋蒔絵螺鈿硯箱（複製）」を展示しました。 ・2017年度に、東京国立博物館と、尾形光琳「八橋蒔絵螺鈿硯箱」に関連するグッズの販売委託契約を結び、史跡八橋かきつばた祭りにおいて販売を行い、八橋史跡保存館への来場者数を増やす試みを行いました。	【八橋史跡保存館 来館者数】 2017年度：1,202人 2018年度：516人 2019年度：982人 2020年度：27人（新型コロナウイルス感染症による閉館あり） 2021年度：649人 ・2017年度に比べ、2021年度の来館者は46%減少しました。	・かきつばたの生育不良や新型コロナウイルス感染症の影響による祭りの中止もありましたが、2017年度に比べ来館者が年々減少しているため、利用を促進するための展示内容の工夫や、効果的なPR方法の検討を行う必要があります。 ・音声ガイドの導入や、キャプションの設置については対応できていません。	・今後も、史跡八橋かきつばたまつり期間中に、「燕子花図屏風（複製）」及び「八橋蒔絵螺鈿硯箱（複製）」の展示を継続していくとともに、リピーターにも楽しんでいただけるような展示を検討します。 ・文化財等の保護の観点から、2020年度より祭り期間以外の開館を原則休止しています。今後も文化財等の保護を第一としますが、まつり期間中以外にも八橋の歴史に触れていただけるよう、利用の促進に向け取り組みます。	
<b>(4)他の観光地との連携による知名度・魅力の向上</b> ・伊勢物語を題材にした連携（東京都墨田区）	◆行政	経済課	・在原業平をモチーフとした東京都墨田区押上・業平橋地区のゆるキャラ「おしなりくん」との縁から、ご当地キャラクターフェスティバルinすみだに、知立市マスコットキャラクターのちりゅっぴが参加し、知立市のPRを行いました。（2016年度～2019年度） ・史跡八橋かきつばたまつりのポスターを、「燕子花図屏風」がある東京都の根津美術館に送付しました。（2020年度を除く）	・イベント参加者に対して、ステージでのPR、知立市の名所カードの配布、出展ブースでの観光パンフレットの配布などを行い、直接的に知立市をPRすることができました。	・イベントに参加することで、知立市及びかきつばたについて全国の方にPRできました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止になり、2020年度から現地でのPRができていないため、今後は別の方法でも連携を図る必要があります。	・他の都道府県在住者に知立市を知ってもらうためには、観光資源をきっかけとした連携が重要です。今後も引き続き、在原業平を契機とした東京都墨田区との連携を検討します。
		文化課	・特になし	・特になし	・現状では評価できません。	・連携に向けた動きがあれば検討します。
	観光協会	・在原業平をモチーフとした東京都墨田区押上・業平橋地区のゆるキャラ「おしなりくん」との縁から、ご当地キャラクターフェスティバルinすみだに、知立市マスコットキャラクターのちりゅっぴが参加し、知立市のPRを行いました。（2016年度～2019年度） ・史跡八橋かきつばたまつりのポスターを、「燕子花図屏風」がある東京都の根津美術館に送付しました。（2020年度を除く）	・イベント参加者に対して、ステージでのPR、知立市の名所カードの配布、出展ブースでの観光パンフレットの配布などを行い、直接的に知立市をPRすることができました。	・イベントに参加することで、知立市及びかきつばたについて全国の方にPRできました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止になり、2020年度から現地でのPRができていないため、今後は別の方法でも連携を図る必要があります。	・他の都道府県在住者に知立市を知ってもらうためには、観光資源をきっかけとした連携が重要です。今後も引き続き、在原業平を接点とした東京都墨田区との連携を検討します。	



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>1. 伊勢物語（平安時代）：伊勢物語に記された八橋かきつばたのいわれを学ぶ</b>						
<b>(5)周遊ルートの設定</b> ・小堤西池や刈谷ハイウェイオアシス（刈谷市）と連携した周遊ルートの提案 ・花しょうぶを周遊するルートの提案 ・鎌倉街道、東海道沿いの史跡めぐり等のモデルコースの設定	◆観光協会		・鎌倉街道、東海道沿いの史跡巡りのモデルコースを観光パンフレットに掲載しました。（観光協会作成：「巡る池鯉鮒」）	・市内の史跡巡りコースを設定したことにより、観光客に対して具体的かつ統一的な案内ができました。	・市内の史跡を巡るモデルコースは既に設定できており、周知もできています。 ・八橋かきつばた園と知立公園花しょうぶ園を結ぶ観光ルートについては、積極的な提案や定番化したモデルコースがないため、今後の検討が必要です。	・近年、花しょうぶの開花時期が早まり、かきつばたまつり期間中にも花が見られるようになっていきます。今後、八橋かきつばた園と知立公園花しょうぶ園及びその周辺史跡をめぐるモデルコースの作成に取り組みます。
	観光関連事業者		<㈱キャッチネットワーク> ・ニュース番組「KATCH TIME30」等でその都度ニュース放送及びWebコンテンツ「近所のはなし」でも紹介しました。	<㈱キャッチネットワーク> ・ニュース番組「KATCH TIME30」等で都度ニュース放送及びWebコンテンツ「近所のはなし」でも紹介しました。	<㈱キャッチネットワーク> ・特になし	<㈱キャッチネットワーク> ・今後も継続的に実施予定です。
			<名鉄> ・知立市の観光名所を巡る名鉄ハイキングを実施しました。 2022年 2回 2021年 1回と常設コース 2020年 1回 2019年 1回 2018年 2回と常設コース 2017年 3回	<名鉄> ・参加者数 2022年 5,886人 2021年 2,274人 2020年 中止 2019年 3,345人 2018年 5,938人 2017年 9,161人	<名鉄> ・特になし	<名鉄> ・特になし
		企画政策課	・市制50周年を記念した事業として、愛知大学の地域貢献団体ACCOMPANYへ知立散策マップの作成を委託しました。そのマップの中で、市内を巡るコースを3つ設定しました。（2019年度～2021年度）	・紙媒体でクーポン付の知立散策マップについては、2,000部を印刷し、市のイベントや窓口で配布しました。また、2022年3月8日には、市長、副市長及びACCOMAPANYの学生3名が完成報告会を行い、中日新聞等のメディアに取り上げていただきました。既に紙媒体2,000部の配布は終了しており、多くの方に本市の魅力を発信できたと考えています。	・紙媒体の知立散策マップ2,000部については、既に配布が完了おり、中日新聞等のマスメディアに取り上げられていることを踏まえると設定した3コースについては、ある程度認知されているのではないかと考えています。	・既に紙媒体の知立散策マップの配布は終了していますが、マップのデータを市HPに掲載していますので、引き続き知立散策マップの周知に努めていきます。
	行政	経済課	・衣浦定住自立圏作成の観光パンフレット「るぶきぬうら」で、小堤西池と八橋かきつばた園を結ぶ観光ルートを提案しました。（2020年度作成） ・鎌倉街道、東海道沿いの史跡巡りのモデルコースを観光パンフレットに掲載しました。（観光協会作成：「巡る池鯉鮒」）	・市内の史跡巡りコースや刈谷市と連携したかきつばたを巡るコースを設定したことにより、観光客に対して具体的かつ統一的な案内ができました。	・市内の史跡を巡るモデルコースや、かきつばたを巡るモデルコースは既に設定できており、周知もできています。 ・八橋かきつばた園と知立公園花しょうぶ園を結ぶ観光ルートについては、積極的な提案や定番化したモデルコースがないため、今後の検討が必要です。	・今後も引き続き、刈谷市と連携しながらかきつばたを巡る周遊ルートをPRし、適宜見直しを行います。 ・近年、花しょうぶの開花時期が早まり、かきつばたまつり期間中にも花が見られるようになっていきます。今後、八橋かきつばた園と知立公園花しょうぶ園及びその周辺史跡をめぐるモデルコースの作成に取り組みます。
		都市計画課	・「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」の”かきつばた”みちとして八橋町周辺の散歩みちを選定、整備しています。	・特になし	・月1回実施している池鯉鮒散歩みち協議会にて会員の皆さんより散歩みちについてのご意見をいただき、コースの選定や整備の方向性が決定できています。	・今後も協議会での意見をもとに、コースの選定や整備をしていきます。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>1. 伊勢物語（平安時代）：伊勢物語に記された八橋かきつばたのいわれを学ぶ</b>						
	行政	まちづくり課	・ミニバスを利用した観光施設を巡るモデルコースを作成しました。	・2021年度に市内観光施設等をミニバスで巡るモデルコースを作成し、ホームページ・知立市観光交流センターにて配布しました。	・モデルコースの認知度は、2022年度に実施した市民アンケートで4.8%となっており、市民の認知度は低いです。	・ミニバス・市内の観光施設のみではなく、近隣のコミバスも利用して市内・市外の観光施設を周遊できるモデルコース冊子を作成し、ホームページ・観光交流センターにて配布していきます。
		文化課	・特になし	・特になし	・現状では評価できません。	・八橋町には無量壽寺のほか、浄教寺の鐘楼門（市指定文化財）や八橋古城跡、根上がりの松、業平塚などがあり、経済課と連携してモデルコース設定などに努めます。



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>2. 池鯉鮒宿（江戸時代）：東海道池鯉鮒宿の往時の街道文化を感じる</b>						
<b>(1)池鯉鮒宿を活かした観光コンテンツの創出</b> ・街道の雰囲気味わえる散策ルート ・知立神社にある常夜灯の東海道への移設や高札場の設置 ・本陣跡・問屋場跡の移設	◆行政	経済課	・知立市観光交流センターを設置し、「池鯉鮒宿宿並図（複製）」や、池鯉鮒宿関連の書籍を展示しました。（2018年度～2021年度） ・知立市観光ガイドボランティアの会に協力を依頼し、池鯉鮒宿に関連する史跡を巡るウォーキングツアーを実施しました。 <b>【実施回数】</b> 2018年度：8回 2019年度：4回 2021年度：2回 ※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。	<b>【知立市観光交流センター来館者数】</b> 2018年度：2,502人 2019年度：2,160人 2020年度：1,228人 2021年度：2,534人 ・2020年3月9日から2020年5月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館しました。 ・2018年度の開館から来館者数は減少しましたが、2021年度においては御宿印の配布があったため、2018年度に比べ、約1%増加しました。 ・ガイド付きの史跡巡りをすることで、市内外の方に対して池鯉鮒宿の魅力を発信することができました。	・御宿印の配布によって観光交流センターの来館者も増加しており、今後も宿場町を巡る観光客への積極的なPRを行う必要があります。	・常夜灯や本陣跡、問屋場跡の移設及び高札場の設置は予算等の関係から困難であるため、観光交流センターでの展示やウォーキングツアーを実施するなど、ソフト面での観光コンテンツの作成に取り組めます。
		都市計画課	・「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」の”宿場散歩みち”として池鯉鮒宿や弘法通り周辺の散歩みちを選定、整備しています。	・特になし	・月1回実施している池鯉鮒散歩みち協議会にて会員の皆さんより散歩みちについてのご意見をいただき、コースの選定や整備の方向性が決定できています。	・今後も協議会での意見をもとに、コースの選定や整備をしていきます。
		文化課	・西町児童遊園に市指定文化財に指定された絵図「池鯉鮒宿宿並図」を活用した案内看板を設置しました。（2020年度） ・県内市町で連携し御城印配布イベントを実施しました。（2021年度） ・歴史文化保存活用ワークショップを開催しました。（2020年度） ・知立神社養正館において歴史体験教室（ピンホールカメラづくり、藍染め）を実施しました。（2021年度）	・県内市町で連携して実施した御城印配布イベントにおいて知立古城跡に1,507人の来場者がありました。（2021年度）	・池鯉鮒宿を通る東海道や古くからの建造物の保存・活用に努め、魅力あるまちづくりにつなげる取組みが必要と考えています。	・池鯉鮒宿にある古い建造物の記録保存や活用に向けた企画の創出に努めます。
	観光協会	・知立市観光ガイドボランティアに協力を依頼し、池鯉鮒宿に関連する史跡を巡るウォーキングツアーを実施しました。 <b>【実施回数】</b> 2018年度：8回 2019年度：4回 2021年度：2回 ※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。	・ガイド付きの史跡巡りをすることで、市内外の方に対して池鯉鮒宿の魅力を発信することができました。	・ガイドと史跡を巡るウォーキングツアーを実施することで、池鯉鮒宿の魅力をPRできていますが、今後も新たなコンテンツづくりに取り組む必要があります。	・常夜灯や本陣跡、問屋場跡の移設及び高札場の設置は予算等の関係から困難であるため、観光交流センターでの展示やウォーキングツアーを実施するなど、ソフト面での観光コンテンツの作成に取り組めます。	
	市民団体		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性	
<b>2. 池鯉鮒宿（江戸時代）：東海道池鯉鮒宿の往時の街道文化を感じる</b>							
<b>(2)松並木を活かした観光コンテンツの創出</b> ・松並木の保護 ・松並木まつりの開催	◆観光協会		・知立市観光ガイドボランティアに協力を依頼し、松並木を歩くウォーキングツアーを実施しました。 【実施回数】 2018年度：5回 2019年度：3回 2021年度：1回 ※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。	【ツアー参加者数】 2018年度：36人 2019年度：25人 2021年度：7人 ・継続してウォーキングツアーを実施することにより、市内外の方へ向けて東海道松並木について知っていただく機会を設けることができました。	・ウォーキングツアーを開催することで、観光資源としての松並木の活用はできているといえます。	・ウォーキングツアーの他、松並木を活かした観光コンテンツの作成について検討します。	
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。				
	行政	経済課		・知立市観光ガイドボランティアに協力を依頼し、松並木を歩くウォーキングツアーを実施しました。 【実施回数】 2018年度：5回 2019年度：3回 2021年度：1回 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。	【ツアー参加者数】 2018年度：36人 2019年度：25人 2021年度：7人 ・継続してウォーキングツアーを実施することにより、市内外の方へ向けて東海道松並木について知っていただく機会を設けることができました。	・ウォーキングツアーを開催することで、観光資源としての松並木の活用はできているといえます。	・ウォーキングツアーの他、松並木を活かした観光コンテンツの作成について検討します。
		文化課		・「東海道松並木のつどい」を開催しました。（2018年度・2019年度、文化協会主催）	・2019年度の「東海道松並木のつどい」では18団体が参加し、茶道、茶店、芸能、体験、情報発信を行い、約450人が集いました。	・松並木の保存にむけた取り組みを継続的に行うとともに、広く市民に親んでもらう取り組みが必要であると考えます。	・知立松並木を将来にわたり残していくための調査、保存活用計画の策定を行います。
	市民団体		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。				
	文化協会		・「野点茶会と茶店～昔を偲んでちゅう秋の東海道松並木」を開催しました。（2017年度） ・「東海道松並木のつどい」を開催しました。（2018年度） ・「東海道松並木のつどい～人々が行き交う歴史と文化の松並木～」を開催しました。（2019年度）	・名鉄ウォーキングと同時開催だったので、約300人の参加がありました。（2017年度） ・松並木での茶店の話題や出店や踊り等の出し物で約400人の参加がありました。（2018年度） ・知立神社の間祭りと同時間開催だったため、4町の山車が松並木に集合したので、約1,000人の参加がありました。（2019年度）	・2017年度「野点茶会と茶店～昔を偲んでちゅう秋の東海道松並木」が文化協会の目玉となりました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく、中止せざるを得なくなりましたが、市民にとっても東海道松並木での催しは大事にしたいと考えています。	・従来駐車場や着替え場所、トイレとして借用していたところがなくなったため、イベントを開催しにぎわいを作っていくためにはそれらの確保が必須です。 ・三河知立駅の移転後、松並木をきっかけとしたイベントを検討していきます。	
	企業		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。				
<b>(3)体験プログラムの設定</b> ・江戸時代をテーマとした体験プログラムの設定	◆市民団体		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。				
	観光協会		・特になし	・特になし	・来訪者の満足度を高めたり、市民に宿場町としての知立を知ってもらうためにも、江戸時代をテーマとした体験プログラムの開発は重要であると考えています。	・宿場町としての知立をPRし、来訪者を増やすためにも、多くの方に楽しんでいただけるような体験プログラムの開発・作成に努めます。	
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。				



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>3. 煎茶文化：方巖売茶翁の煎茶を楽しむ</b>						
<b>(1)煎茶文化を活かした観光コンテンツの創出</b> ・イベント時における売茶流茶会の実施 ・売茶流の体験教室の開催	◆市民団体		<八橋旧蹟保存会> ・史跡八橋かきつばた祭り期間中に開催される茶会で、売茶流煎茶のお点前をしていただきました。（2017年度～2019年度※2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症により中止しました）	<八橋旧蹟保存会> ・史跡八橋かきつばたまつりを訪れた人に対して、売茶流煎茶を知っていただくことができました。	<八橋旧蹟保存会> ・継続的に売茶流茶会の実施ができています。（新型コロナウイルス感染症拡大時期を除く）	<八橋旧蹟保存会> ・引き続き、茶交会と協議をしながら、史跡八橋かきつばたまつりにおいて売茶流茶会を実施します。
			<知立公園花菖蒲育成会> ・知立公園花しょうぶまつり期間中に開催される茶会で、売茶流煎茶のお点前をしていただきました。（2017年度～2019年度※2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症により中止しました）	<知立公園花菖蒲育成会> ・知立公園花しょうぶまつりを訪れた人に、売茶流煎茶を知っていただくことができました。	<知立公園花菖蒲育成会> ・継続的に売茶流茶会の実施ができています。（新型コロナウイルス感染症拡大時期を除く）	<知立公園花菖蒲育成会> ・引き続き、茶交会と協議をしながら、知立公園花しょうぶまつりにおいて売茶流茶会を実施します。
	観光協会		・史跡八橋かきつばた祭り期間中に開催される茶会で、売茶流煎茶のお点前をしていただきました。（2017年度～2019年度※2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症により中止しました）	・史跡八橋かきつばたまつりを訪れた人に、売茶流煎茶を知っていただくことができました。	・文化協会や売茶流関係者と連携しながら、実現性の高い観光コンテンツを検討する必要があります。	・文化協会や売茶流関係者と連携し、燕子庵を活用した売茶流茶会の開催など、煎茶文化を活かした観光コンテンツ作りに努めます。
	行政	経済課	・観光交流センター開所1周年記念イベントにおいて、売茶流煎茶のふるまいをしました。（2018年3月） ・史跡八橋かきつばた祭り期間中に開催される茶会で、売茶流煎茶のお点前をしていただきました。（2017年度～2019年度※2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症により中止しました）	・観光交流センターや史跡八橋かきつばたまつりを訪れた人に、売茶流煎茶を知っていただくことができました。	・観光交流センターでのイベントは2018年度の1回にとどまっており、煎茶文化を活かした観光コンテンツは不足しています。 ・文化協会や売茶流関係者と連携しながら、実現性の高い観光コンテンツを検討する必要があります。	・文化協会や売茶流関係者と連携し、燕子庵を活用した売茶流茶会の開催など、煎茶文化を活かした観光コンテンツ作りに努めます。
		文化課	・歴史民俗資料館において開催した企画展「八橋売茶翁－没後190年－」において、売茶流の講師を招き、来館者にお点前と共に売茶流煎茶をふるまうイベントを実施しました。（2017年度）	・イベントは1日限定で、先着100人までとしました。	・展示資料だけではなく、売茶流煎茶の作法を実際に見てもらうことで、多角的に煎茶文化を知ってもらうことができたと考えます。	・煎茶文化を活かした企画の創出に努めます。
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性	
<b>4. まつり：由緒あるまつりを楽しむ</b>							
<b>(1)知立まつり・秋葉まつりを持続していく仕組みづくり</b> ・まつりの担い手の育成 ・まつりを持続していくためのさまざまな支援	◆市民団体 (まつり関係者含む)		<知立まつり関係者> ・各町において、担い手を募集・育成しました。 ・各町ごとに方法は異なりますが、回覧板でお囃子や秋葉まつりへの参加者募集を呼びかけるなど、担い手を募集しました（2017年度以前～）。 ・竜北中学校の山車文楽部や、文化課がやっている義太夫お試し教室へ協力しました。（2017年度～）	<知立まつり関係者> ・各町でそれぞれに担い手の確保・育成をし、知立まつりでの山車や花車の巡行及び文楽やからくりの奉納、秋葉まつりでの煙火の奉納を行いました。 （2017年度以前～2019年度） ・2020年度から、新型コロナウイルス感染症の拡大により、上記奉納行事等は中止しました。	<知立まつり関係者> ・これまでの担い手の募集・育成は地縁によるところが大きかったため、新型コロナウイルス感染症の影響で人との繋がりが断たれ、担い手不足に陥りつつあります。 ・新型コロナウイルス感染症発生以前より担い手不足を心配する声がありましたが、感染症拡大による祭礼行事の相次ぐ中止により、関係区民がまつりを見たり触れたりする機会を奪われ、担い手不足が一層深刻になることが懸念されます。 各町が後継者の育成について、より積極的に取り組んでいく必要があります。	<知立まつり関係者> ・まつりの保存継承のために、祭礼関係町、行政、観光協会と連携し、まつりのPRや担い手募集について学校等を通じたチラシの配布やSNSの活用などにより、広く周知していく必要があります。 ・まつり保存にかかる経費について、地域や関係者の経済的な負担軽減を図ることにより、まつりの安定的運営を推進し担い手の定着を支援する方策を官民協働で取り組んでいきます。 ・コロナ禍におけるまつりの実施方法についても、上記同様に取り組んでいきます。	
		行政	経済課	・特になし	・特になし	・まつりの実質的な運営は、知立神社及び五か町が行っているため、担い手の育成等については、経済課では把握できていません。	・まつりを持続していくためにどのような取り組みが必要か、まつり関係者に意見を伺いながら行政が行える支援について検討します。
			文化課	・義太夫お試し教室を実施しました。（2017年度～）	・2017年度から29人が本教室に参加しました。また、受講生の成果披露として、秋の山車文楽上演に出演しました。	・「知立の山車文楽とからくり」はユネスコ無形文化遺産となっており、継承するうえで重要な施策と考えています。	・町内での活動とは別に、広く市民が関心を持ち、参画できる仕組みを引き続き実施するように努めます。
			観光協会	・知立市観光協会から、山車の維持管理及び伝統芸能継承の費用の一部として、知立山車連合保存会へ負担金を交付しました。（2017年度～2021年度）	・山車の維持管理及び伝統芸能の継承を行うことで、祭りが運営されました（2020年度・2021年度は規模縮小により巡行・奉納行事中止）。	・まつりの実質的な運営は、知立神社及び五か町が行っているため、担い手の育成等については、観光協会では把握できていません。	・まつりを持続していくためにどのような取り組みが必要か、まつり関係者に意見を伺いながら観光協会が行える支援について検討します。
<b>(2)新たなまつりの魅力の創出</b> ・まつり期間以外の文楽、からくりの上演 ・山車の常設展示施設の整備 ・囃子や文楽、からくりの体験	◆行政	経済課	・特になし	・特になし	・知立の山車文楽とからくりは、知立まつりの奉納行事で知立市の大切な文化財であるとともに、来訪者にとって魅力的な観光資源でもあります。まつり期間以外にも、知立まつりに触れられる機会を作ることは重要と考えています。	・新たなまつりの魅力の創出について、まつり関係者に意見を伺いながら実施可能な事業について検討します。	
			文化課	・秋の山車文楽上演を開催しました。（2018年度～）	【参加者数】 2018年度：171人 2019年度：232人 2020年度：123人 2021年度：123人	・知立まつり以外で山車文楽を見ることのできる機会であり重要と考えています。また、義太夫お試し教室の受講生並びに竜北中学校山車文楽部の生徒も出演しており、日頃の練習成果の披露の場となっています。	・内容がマンネリ化しているので、新たな取り組みを模索します。
			観光協会	・特になし	・特になし	・知立の山車文楽とからくりは、知立まつりの奉納行事で知立市の大切な文化財であるとともに、来訪者にとって魅力的な観光資源でもあります。まつり期間以外にも、知立まつりに触れられる機会を作ることは重要と考えています。	・新たなまつりの魅力の創出について、まつり関係者に意見を伺いながら実施可能な事業について検討します。
			観光関連事業者	・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>4. まつり：由緒あるまつりを楽しむ</b>						
	市民団体		<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パティオ池鯉鮒で、山車文楽とからくりの各保存会の合同公演を開催しました。</li> <li>・秋の山車文楽上演を行いました。（2018年度～）</li> <li>・知立からくり保存会がフランスで開催された「世界人形劇フェスティバル」に参加しました。（2017年度）</li> <li>・日本とスウェーデンの外交関係樹立150周年を記念し、山車文楽とからくりをストックホルムで上演しました。（2018年度）</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <p>【パティオ池鯉鮒での公演について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文楽とからくりの各保存会の合同公演を毎年7月に行いました。（2020年度のみ1月開催）2017年度～2019年度は通常開催でしたが、2020年度、2021年度は文楽のみの公演でした。</li> <li>・2018年度にパティオ池鯉鮒に展示してある山車の大幕等を新調したお披露目を兼ねて、秋に文楽の公演を行いました。2019年度以降は義太夫教室の発表会も兼ねる位置付けで11月に開催しています。</li> <li>・市内外の方に対し、「知立まつり」や「知立の山車文楽とからくり」について知っていただくことができました。</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立まつり以外での山車文楽やからくりの上演は、知立まつりの周知にも有効であり、行政と連携しながら今後も続けていくべきものと考えています。</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政及び各町と調整をし、「知立まつり」をより多くの人知ってもらうために、まつり期間以外の山車の展示や、山車文楽・からくりの上演機会を設けることができるよう取り組んでいきます。</li> </ul>
<p><b>(3)弘法さん（遍照院）を核とした観光コンテンツの創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命日、寺の市によるにぎわいづくり</li> <li>・参道としてふさわしい風情のある街並みづくり</li> <li>・縁日における空店舗の活用</li> </ul>	◆行政	経済課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中日写真協会協力の下、弘法山を写す会及び入賞作品展を開催しました。（2016年度～2021年度※2020年度は新型コロナウイルス感染症により中止しました）</li> <li>・寺の市開催日には弘法下駐車を貸出し、来場者用駐車場として開放しました。（2017年度～2021年度）</li> </ul>	<p>【弘法山を写す会応募者数】</p> <p>2017年度：40人（市外21人） 2018年度：44人（市外29人） 2019年度：39人（市外25人） 2021年度：44人（市外30人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘法山を写す会の参加者はほぼ横ばいになっています。</li> <li>・弘法山を写す会以外にも、弘法さんの魅力を活かした観光コンテンツについて検討していく必要があります。</li> <li>・弘法さんの縁日や寺の市など、市民団体が行っている行事と、相互に協力していくことが重要と考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、弘法山を写す会を実施してまいります。ミスかきつばたや、中日フォトメイツの廃止により、撮影会の在り方について、検討します。</li> <li>・寺の市や弘法さんの縁日の開催について、関係団体と相互に協力しながらにぎわいづくりに努めます。</li> </ul>
		企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立遍照院マルシェ寺の市において、愛知大学地域貢献団体ACCOMPANYの学生が自主事業として、知立散策マップ及びコーヒー粉を再利用した消臭剤を配布しました。（2021年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーヒー粉を再利用した消臭剤は寺の市の開始から1時間程で配布が終了し、知立散策マップにおいても数多く配布することができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立散策マップには市内14のスポットや事業所が掲載されており、市内の魅力発信や市内事業所のPRに繋がったと考えています。また、コーヒー粉を再利用した消臭剤においては、寺の市の開始から1時間程で配布が終了してしまうほど人気であったことから、市内のにぎわいづくりに繋がったと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、にぎわいづくりに寄与する事業や学生と連携した事業の実施について検討を行います。</li> </ul>
		都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、遍照院の参道として風情のある街並みが保たれています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風情ある街並みづくりについて研究します。</li> </ul>

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>4. まつり：由緒あるまつりを楽しむ</b>						
	◆市民団体		<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千燈供養祭・前夜祭（毎年9月頃）の点灯作業並びに参拝者への接待を行いました。（～2021年度）</li> <li>人形・仏壇供養祭を開催しました。（毎年11月23日祝日）（～2021年度）</li> <li>年末年始の参拝客接待を行いました。（毎年12月31日大晦日）（～2021年度）</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千燈供養祭、前夜祭は、4年前より保育所・幼稚園・小学校の児童と園児たちに灯籠（堤灯）に絵を書いてもらい飾られています。</li> <li>「寺の市」の協力を得て、竹堤灯・ガラスコップなどに光の演出、露店を可能な限り出店をしたことにより、多くの集客を得ました。</li> <li>人形・仏壇供養祭では、観光協会主催による「弘法さんを写す会」とコラボして開催、また「寺の市」の参画により、露店を出店し、より多くの集客を得ました。</li> <li>年末年始の参拝客接待においても露店を出店、より親しまれる観光地を目指しました。</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弘法山遍照院の行事を中心に、新たな試みとして様々な運営をしてきました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも新たなにぎわいを創出することができました。</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遍照院の諸行事に磨きをかけて、より多くの参拝者に来ていただけるよう、また弘法さんの魅力を向上していけるよう取り組んでいきます。</li> </ul>
	◆市民団体		<p>&lt;寺の市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寺の市を原則毎月第3日曜日に開催しました。（2017年～2021年（2010年の軽トラ市が始まり））</li> <li>千燈供養祭、人形供養祭、年越し、仏壇供養にも新たに参加しました。（2021年度）</li> <li>千燈供養祭、年越しには竹灯籠やガラスコップにろうそくを入れて光の演出を試みました。（2021年度）</li> <li>人形供養、弘法山を写す会との合同開催を行いました。（2021年度）</li> </ul>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <p>【寺の市出店者数】</p> <p>2017年度：30～40店舗 2021年度：90～100店舗</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2017年に弘法発展会が運営を引継ぎました。</li> <li>2019年に開催場所を遍照院境内に移し、出店者のネット募集を開始しました。また、他市のマルシェを参考に運営方法を見直し、新たに入ったスタッフの意見を取り入れることで出店者数や来客数を増やすことができました。</li> </ul>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフの意見を取り入れ、運営方法等を見直したことで、出店者・来場者が増加しています。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度・2021年度に寺の市を中止にしたこともありましたが、アルコール消毒の徹底、マスクの着用、検温等の対策をとって寺の市を開催できています。</li> <li>従来の毎月第3日曜日だけではなく、千燈供養祭や人形供養祭など、遍照院の行事にも寺の市として参加参加し、新たなにぎわいを作ることができました。</li> </ul>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策を取り、「主催者・出店者・お客様が楽しく」をモットーに、寺の市を継続していきます。</li> <li>今後、遍照院の行事と合同でイベントを開催できないか、関係者と調整していきたいと考えています。</li> </ul>
	◆観光協会		<ul style="list-style-type: none"> <li>中日写真協会協力の下、弘法山を写す会及び入賞作品展を開催しました。（2016年度から2021年度※2020年度は新型コロナウイルス感染症により中止しました）</li> </ul>	<p>【弘法山を写す会応募者数】</p> <p>2017年度：40人（市外21人） 2018年度：44人（市外29人） 2019年度：39人（市外25人） 2021年度：44人（市外30人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弘法山を写す会の参加者はほぼ横ばいになっています。</li> <li>弘法山を写す会以外にも、弘法さんの魅力を活かした観光コンテンツについて検討していく必要があります。</li> <li>弘法さんの縁日や寺の市など、市民団体が行っている行事と、相互に協力していくことが重要と考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、弘法山を写す会を実施していきます。ミスかきつばたや、中日フォトメイツの廃止により、撮影会の在り方について、検討します。</li> <li>寺の市や弘法さんの縁日の開催について、関係団体と相互に協力しながらにぎわいづくりに努めます。</li> </ul>
	商工会		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	商工事業者		<p>&lt;知立市商店街連合会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弘法発展会へ補助金という形で寺の市の事業に対して補助金を交付しました。</li> </ul>	<p>&lt;知立市商店街連合会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<p>&lt;知立市商店街連合会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<p>&lt;知立市商店街連合会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商店街連合会という立場上一つの発展会だけに限定した支援は行えませんが、何かアプローチがあれば協力していきたいと考えています。</li> </ul>
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>4. まつり：由緒あるまつりを楽しむ</b>						
<b>(4)他の観光地との連携による知名度・魅力の向上</b> ・ユネスコ無形文化遺産登録市町村との連携 ・三河三弘法（遍照院、西福寺、密蔵院）との連携 ・花しょうぶ観光地との連携	◆観光協会		・「愛知再発見 山車を核とした観光ネットワーク」に参加し、情報交換やミーティングに出席し連携を図りました。（2017年度～） ・愛知ディスティネーションキャンペーンに合わせ、「山車を核とした観光ネットワーク」参加市町とともに、スタンプラリーを実施しました。（2018年度） ・「山車を核とした観光ネットワーク」において、愛知の山車・鉾・屋台行事のパンフレットを作成しました。（2019年度）	・ネットワーク会議に参加することで、県内のユネスコ無形文化遺産登録市町村との連携を図り、知立まつりについて広く周知することができました。	・2017年度から2019年度にかけては、山車を核とした観光ネットワークの活動が盛んであったため、他のユネスコ無形文化遺産登録市町村と連携し、愛知の山車まつりの魅力について広域に発信できていました。 ・2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、祭りのPRについての他市との連携は取れていません。	・引き続き、他のユネスコ無形文化遺産登録市町村と連携を図ります。 ・三河三弘法や花しょうぶ観光地との連携が図られるよう方法を検討します。
	◆行政	経済課	・岐阜県大垣市観光協会が実施する山・鉾・屋台行事スタンプラリー事業に参加しました。（2017年度～2021年度）	・スタンプラリーに参加することで、県内のユネスコ無形文化遺産登録市町村との連携を図り、知立まつりについて広く周知することができました。	・継続してスタンプラリーに参加し、山車・鉾・屋台行事の広域的な魅力発信に協力しています。	・引き続き、他のユネスコ無形文化遺産登録市町村と連携を図ります。 ・三河三弘法や花しょうぶ観光地との連携が図られるよう方法を検討します。
		文化課	・あいち山車まつり日本一協議会の普及イベントに参画することで魅力向上に努めました。	・知立市はあいち山車まつり日本一協議会の理事団体であり、年1回の総会・理事会や年5回の企画・運営部会に出席しました。また、協議会主催のイベント（2018年度、2019年度）や映像記録（2021年度）に出演したり、まつりのシンポジウムの会場となりました。（2020年度）	・協議会加盟後、イベント参加やシンポジウムの会場となるなど、「知立まつり」及び「知立の山車文楽とからくり」の知名度・魅力の向上につながる活動ができていると考えます。	・今後も協議会の事業への参加について、山車の巡行及び山車文楽とからくりを伝承する5町や保存会に積極的に働きかけていきます。
	観光関連事業者		<㈱キャッチネットワーク> ・「知立まつり」及び「秋葉まつり」は毎年特別番組化しました。 ・2017年に制作した知立市・半田市・津島市・犬山市それぞれのユネスコ登録市町村の祭礼を取材した「あいちの祭りを世界に」は全国展開しました。	<㈱キャッチネットワーク> ・「あいちの祭りを世界に」は日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード 4K部門で映像表現賞を受賞しました。	<㈱キャッチネットワーク> ・特になし	<㈱キャッチネットワーク> ・今後も継続的に実施予定です。
	市民団体		<知立公園花菖蒲育成会> ・特になし	<知立公園花菖蒲育成会> ・特になし	<知立公園花菖蒲育成会> ・取組を行っていないため、評価はできません。	<知立公園花菖蒲育成会> ・市や観光協会を通し、県内の他の花しょうぶ園の育成・管理方法について聞き、知立公園の花しょうぶ園に活かしたいと考えています。 ・他の観光地との連携について、市や観光協会から協力依頼があった際には、知立神社にも相談し対応します。
			<弘栄会> ・特になし	<弘栄会> ・特になし	<弘栄会> ・弘栄会としては三河三弘法の他の寺院との連携はありません。 ・弘栄会の研修旅行を年に1度開催し、弘法さんの縁日に活用できる取組がないか、他の寺院での市の様子を見学しています。	<弘栄会> ・遍照院や、知立市観光協会から協力依頼があった際には、周知やイベントの運営時の協力を行います。
			<寺の市> ・特になし	<寺の市> ・特になし	<寺の市> ・取組を行っていないため、評価はできません。	<寺の市> ・他の観光地との連携については、現時点では検討していません。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>4. まつり：由緒あるまつりを楽しむ</b>						
<b>(5)知立神社、知立公園の観光スポットとしての磨き上げ</b> ・知立公園（花しょうぶ園）の整備 ・観光スポットとしての知立神社のPR	◆行政	経済課	・知立公園花菖蒲育成会からの意見を元に、知立公園の修繕・整備などを行いました。（2017年度～2021年度） ・知立公園花しょうぶまつりのパンフレットや、ホームページなどで知立神社のPRを行いました。（2017年度～2021年度）	・花しょうぶ園の修繕・整備を行い、来訪者の安全を図ることができました。また、花の育成・管理のために必要な設備や現在の状況について、知立公園花菖蒲育成会と情報共有することができました。 ・パンフレットやホームページで知立神社について紹介したことで、まつり期間中の来訪者や、来訪を希望する方に情報を提供することができました。	・花しょうぶ園については、優先度の高い順から修繕や整備を行っていますが、経年劣化等により整備が追いついていないのが現状です。園路の整備やトイレの整備などを行っていく必要があります。 ・知立神社の協力の下で、観光スポットとしての知立神社のPRはできています。	・引き続き、知立公園花菖蒲育成会と調整し必要箇所の修繕や整備を行っていきます。 ・徳川家康が主人公となる大河ドラマの放送が決定し、知立神社も家康にゆかりのある場所であるため、知立神社や愛知県、他市町村と連携を取りながらより一層のPRに努めます。
		文化課	・特になし。	・特になし。	・現状では評価できません。	・歴史民俗資料館での展示や刊行物等において知立神社の魅力向上に努めます。
	◆観光協会		・知立公園花しょうぶまつりのパンフレットや、ホームページなどで知立神社のPRを行いました。（2017年度～2021年度）	・パンフレットやホームページで知立神社について紹介したことで、まつり期間中の来訪者や、来訪を希望する方に情報を提供することができました。	・知立神社の協力の下で、観光スポットとしての知立神社のPRはできています。	・徳川家康が主人公となる大河ドラマの放送が決定し、知立神社も家康にゆかりのある場所であるため、知立神社や愛知県、他市町村と連携を取りながらより一層のPRに努めます。
	市民団体		<知立公園花菖蒲育成会> ・花しょうぶ園の整備が必要な場所について、市に要望を提出しました。（2017年以前～） ・年間を通して、花しょうぶ園の維持管理を行いました。（2017年以前～）	<知立公園花菖蒲育成会> ・市と調整し、花しょうぶ園の整備、育成設備の修繕を行いました。 <b>【平均年間作業日数：35日】</b> ・除草作業 ・株分け、植え付け、田の整地 ・施肥作業 ・園内清掃 等	<知立公園花菖蒲育成会> ・花しょうぶの育成について、継続的に取り組んでいます。 ・花しょうぶ園については、市へ要望を出し、修繕や整備についての調整を図れています。 ・来園者が過ごしやすい環境を整えるため、整備について引き続き市と調整していく必要があります。	<知立公園花菖蒲育成会> ・引き続き、花しょうぶ園の修繕や整備を行っていきます。 ・花しょうぶを咲かせ、知立神社と相談しながらまつりの内容を充実させることを優先的にやっていきたいと考えています。
			<知立まつり関係者> <b>【知立山車連合保存会】</b> 全国山・鉦・屋台保存連合会に加盟し、加盟市町村等と情報交換や視察などを行いました。（2017年以前～）	<知立まつり関係者> ・他市町村への視察及び情報交換により、まつりの運営方法や山車の保存管理等について学び、知立まつりに活かすことができました。	<知立まつり関係者> ・他の市町村等と情報共有を行い、知立まつり及び知立の山車文楽とからくりの保存継承や、知名度の向上について取り組むことができます。	<知立まつり関係者> ・引き続き、全国山・鉦・屋台保存連合会加盟団体や県内まつり団体と連携し、知立まつり及び山車文楽とからくりの保存継承に取り組み、知名度の向上を図ります。
	観光関連事業者		<㈱キャッチネットワーク> ・ニュース番組「KATCH TIME30」等で都度ニュース放送及びWebコンテンツ「近所のはなし」でも紹介しました。	<㈱キャッチネットワーク> ・ニュース番組「KATCH TIME30」等で都度ニュース放送及びWebコンテンツ「近所のはなし」でも紹介しました。	<㈱キャッチネットワーク> ・特になし	<㈱キャッチネットワーク> ・今後も継続的に実施予定です。
			<名鉄> ・駅へのポスター掲出をしました。	<名鉄> ・知立市観光協会より申請を受領しました。 4/22～5/21 かきつばたまつり/花しょうぶまつりポスター掲出 8/22～9/18 秋葉まつり⇒申請後、掲出承認が完了していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により掲出を取りやめました。	<名鉄> ・特になし	<名鉄> ・特になし



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>5. ウォーキング+観光：ウォーキング+αを楽しむ</b>						
(1)既存ルートの魅力向上 ・歩きやすいルートの整備 ・スタンプラリーなどのイベントの実施	◆観光協会		・知立市観光交流センターを発着場所として、「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」を開催しました。(2018年度～2021年度)	【開催回数(延べ人数)】 2018年度：12回(118人) 2019年度：9回(89人) 2020年度：1回(6人) 2021年度：3回(25人) ・また、2019年3月から2021年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響によりツアーの中止や参加人数の制限を行いました。 ・既存のルート歩くツアーではないものもありましたが、市内全域の観光スポットについて多くの方に知っていただくことができました。	・観光ガイドボランティアの解説付きでウォーキングツアーを行い、既存のルート上にある観光資源等について参加者に知っていただくことができました。	・「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」は観光交流センターが発着場所となるため、既存の「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」とは一部ルートが異なりますが、引き続き知立市観光ガイドボランティアの会と調整しながら、事業の継続実施やPR媒体の検討等を行い、より多くの方に参加いただけるように努めます。
		経済課	・知立市観光交流センターを発着場所として、「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」を開催しました。(2018年度～2021年度)	【開催回数(延べ人数)】 2018年度：12回(118人) 2019年度：9回(89人) 2020年度：1回(6人) 2021年度：3回(25人) ・また、2019年3月から2021年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響によりツアーの中止や参加人数の制限を行いました。 ・既存のルート歩くツアーではないものもありましたが、市内全域の観光スポットについて多くの方に知っていただくことができました。	・観光ガイドボランティアの解説付きでウォーキングツアーを行い、既存のルート上にある観光資源等について参加者に知っていただくことができました。	・「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」は観光交流センターが発着場所となるため、既存の「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」とは一部ルートが異なりますが、引き続き知立市観光ガイドボランティアの会と調整しながら、事業の継続実施やPR媒体の検討等を行い、より多くの方に参加いただけるように努めます。
		行政  都市計画課	・散歩みち整備として、舗装や車止め、ベンチ、案内看板の設置、河川堤防の散歩みちの河川占用区間の草刈を実施しています。 ・年1回、散歩みちのPR活動として、ウォーキングイベント(わくわくウォーキング)を開催しています。	【散歩みち整備】 2017年度：舗装延長L=202m(猿渡川) 2018年度：舗装延長L=70m(猿渡川) 2019年度：舗装延長L=175m(猿渡川) 2021年度：舗装延長L=15.5m、車止め1基(猿渡川) 【散歩みち維持管理】 ・散歩みち協議会員にて地区ごとに、舗装した河川堤防道路の草刈り(法下1.0mまで)、清掃、花壇整備などを実施しています。危険箇所については、市や県で草刈りを行っています。 【わくわくウォーキング参加者】 2017年度：191人 2018年度：160人(-31人) 2019年度：151人(-9人) 2020年度：新型コロナにより中止 2021年度：新型コロナにより中止	・散歩みちに指定した河川堤防道路について、2021年度末までに約4.2km(舗装整備率56.7%)で舗装が完了しました。 ・協議会、市にて約6.4kmで草刈りを実施しています。協議会員の高齢化により草刈りが十分に実施できていない箇所があり、散歩みちのコースについて検討する必要があります。 ・わくわくウォーキングについて、例年多くの方に参加いただき、参加者は減少傾向にありますが、散歩みちや知立の歴史的な観光名所のPRになっています。	・草刈りの実施が難しい箇所等、協議会会員とコースについて再検討していきます。また、新規協議会員の募集に努めます。 ・わくわくウォーキングについて、イベントの継続実施やPR媒体の検討等より多くの方に情報提供できるよう努めます。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>5. ウォーキング+観光：ウォーキング+αを楽しむ</b>						
	行政	生涯学習スポーツ課	・2017年度から2019年度まで知立市民歩け歩け運動を実施しました。2020年度から2021年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止となりました。	【知立市民歩け歩け運動参加者数】 2017年度：約1,500人 2018年度：約500人 2019年度：約1,500人 ※2018年度は雨天による開催であったため、1,000人減少しています。	・事業を継続していることにより、毎年一定数の市民に参加いただけています。	・新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、事業継続できるように努めます。
	観光関連事業者		<名鉄> ・駅を発着とするハイキングコースを設定、実施しました。 ・知立市制50周年記念入場券&スタンプ・シールラリー記念入場券の購入者に、知立駅と歴史民俗資料館を巡るスタンプ・シールラリーを実施しました。(2021年7月17日(土)～9月5日(日))	<名鉄> 2022年 2回 2021年 1回と常設コース 2020年 1回 2019年 1回 2018年 2回と常設コース 2017年 3回 ・知立市制50周年冠事業企画展「ウノ・カマキリワールド - Cartoon -」が開催されていた知立市歴史民俗資料館への誘客に寄与できました。	<名鉄> ・スタンプ・シートは当初予定していた枚数を配布することができました。	<名鉄> ・引き続き同市を訪れる動機づくりならびに行政との連携を強めていきます。
<b>6. 産業観光：先進的、特徴的な知立の産業を体感する</b>						
<b>(1)産業観光を取り入れた観光の創出</b> ・ものづくり体験や収穫体験ができる観光コースの設定	◆観光協会		・「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」において、藤田屋の大あんまき手焼き体験を盛り込んだツアーを2回開催しました。(2018年度) ・(株)FUJIの工場見学ツアーの実施に向け調整をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。(2020年度)	【参加者数】 合計：23人(1回目：15人・2回目：8人) ・1回目の際に申込多数であったため、2回目が企画されるなど、好評を博しました。	・単発の企画となっており、継続して案内のできる観光コースの設定はできていません。	・昨今、体験型の観光の需要が高まっています。来訪者の満足度を高め、リピーターや新たな来訪者を増やすため、市内の事業者に見解をいただきながら、ものづくりや収穫体験ができる観光コースが設定できるよう調整を図ります。
	行政	経済課	・「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」において、藤田屋の大あんまき手焼き体験を盛り込んだツアーを2回開催しました。(2018年度) ・(株)FUJIの工場見学ツアーの実施に向け調整をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。(2020年度)	【参加者数】 合計：23人(1回目：15人・2回目：8人) ・1回目の際に申込多数であったため、2回目が企画されるなど、好評を博しました。	・単発の企画となっており、継続して案内のできる観光コースの設定はできていません。	・昨今、体験型の観光の需要が高まっています。来訪者の満足度を高め、リピーターや新たな来訪者を増やすため、市内の事業者に見解をいただきながら、ものづくりや収穫体験ができる観光コースが設定できるよう調整を図ります。
	商工事業者		<知立市商店街連合会> ・商店街の発展会は商業系の店舗が多いためものづくり体験などは難しく実績はありません。	<知立市商店街連合会> ・特になし	<知立市商店街連合会> ・特になし	<知立市商店街連合会> ・特になし
	JA		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	観光関連事業者		<名鉄> ・駅を発着とするハイキングコースの中で、市内施設を立ち寄り箇所を設定し実施しました。	<名鉄> 2022年 2回 2021年 1回と常設コース 2020年 1回 2019年 1回 2018年 2回と常設コース 2017年 3回	<名鉄> ・特になし	<名鉄> ・特になし



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>7. にぎわい交流：多くの人々が交流するにぎわいのあるまち</b>						
<b>(1)多様な主体によるにぎわいの創出</b> ・商店街や市民団体・学生等が主体となるイベントの開催 ・若者や子育て世代が中心となるミニイベント（フリーマーケット）など、市民が主体のイベントの開催 ・学生と協働のイベントの開催 ・ちりゅっぴを活用したイベントの開催	◆商工事業者		〈知立市商店街連合会〉 ・歳末の大売り出しとして参加店舗で買い物をした人にクジを配布し、当選者にはクリスマスにサンタクロースがプレゼントを自宅にお届けするという企画を行いました。（2020年度は新型コロナウイルス感染症により中止・2021年度は実施） ・駅前一帯で発展会のテントを立てて出店するなど、連合会を知ってもらうためのPRを目的にした冬のイベントを企画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。（2020年度）	〈知立市商店街連合会〉 ・2021年度参加店舗：127店舗	〈知立市商店街連合会〉 ・20年程前から継続して実施しており、年末の恒例行事として認知されています。	〈知立市商店街連合会〉 ・今後も新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、積極的にイベントを企画していきたいと思えます。
	◆市民団体		<弘栄会> ・遍照院内の大師茶屋を大幅リニューアルし「寺飯」をオープンしました。（2021年度～）	<弘栄会> ・「寺飯」をオープンし、子どもたちに朝食の提供を行い、寺に気軽に通えるものとして集客を図ってきました。	<弘栄会> ・普段（行事がない時）でも、弘法山遍照院へ来訪者が増えてきました。子どもに連れられる形で、親子連れが多くなっています。	<弘栄会> ・大師茶屋の運営を安定的にして、市民から親しまれる寺を目指していきます。
			<寺の市> ・2017年に弘法発展会が市の運営を引き継ぎました。 ・弘法発展会が主体ですが、2019年に新しく入ったスタッフ等、様々な人がかかわって寺の市の運営に取り組んできました。 ・新たに知立高校に出店協力をお願いしました。	<寺の市> ・2017年に弘法発展会が運営を引き継ぎました。 【出店者数】 2017年度：30～40店舗 2021年度：90～100店舗 ・寺の市を原則毎月第3日曜日に開催したほか、2021年度には千燈供養祭や人形供養祭、弘法山を写す会との合同開催を行いました。	<寺の市> ・弘法発展会をはじめとし、様々な人の協力の下で寺の市を開催できています。 ・学生も参加してにぎわいづくりが図られるよう取り組んでいます。	<寺の市> ・今後も、地域の学生や地域の人と協働して、寺の市を開催できるよう取り組んでいきます。 ・寺の市を継続するためには、運営側の負担が大きくなりすぎないようにする必要があります。出店者や学生にも自主的に準備等をなってもらった仕組みづくりを進めていきます。
	商工会		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
行政	経済課	・市民団体等が行うイベントに対し、着ぐるみ貸出要領に基づき、ちりゅっぴの着ぐるみの貸出を行いました。（2017年度以前～2021年度） ・知立市観光交流センターにおいて、ちりゅっぴを活用したイベントを実施しました。（2018年度：1回・2019年度：3回）	・各団体のイベントの成果については把握していません。 【知立市観光交流センターイベント参加者数】 2018年度：150人（※他の企画への参加者含む） 2019年度： 七イベント：55人 ハロウィンイベント：71人 クリスマスイベント：47人	・知立市観光交流センターのイベントについて、同月の同じ曜日の平均来館者数は、7月：16人、10月：19人、12月：7人となっており、にぎわいが図られています。ただし、一過性のものとなってしまっているため、継続的なにぎわい創出について検討する必要があります。 ・また、学生と協働したイベントについては、行えていません。（よいとこ祭りのボランティアを除く）	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を実施した上で、ちりゅっぴを活用したイベントを開催しにぎわいの創出を図ります。	

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性	
<b>7. にぎわい交流：多くの人々が交流するにぎわいのあるまち</b>							
	観光協会		・知立市観光交流センターにおいて、ちりゅっぴを活用したイベントを実施しました。（2018年度：1回・2019年度：3回）	・各団体のイベントの成果については把握していません。 【知立市観光交流センターイベント参加者数】 2018年度：150人（※他の企画への参加者含む） 2019年度： 七イベント：55人 ハロウィンイベント：71人 クリスマスイベント：47人	・知立市観光交流センターのイベントについて、同月の同じ曜日の平均来館者数は、7月：16人、10月：19人、12月：7人となっており、にぎわいが図られています。ただし、一過性のものとなっているため、継続的なにぎわい創出について検討する必要があります。 ・また、学生と協働したイベントについては、行えていません。（よいところ祭りのボランティアを除く）	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を実施した上で、ちりゅっぴを活用したイベントを開催しにぎわいの創出を図ります。	
<b>(2)公共空間を活用したにぎわいの創出</b> ・駅前広場や公園を活用した新たなイベントスペースの確保 ・知立よいところ祭り、ドリームイルミネーションの継続と内容の充実	◆観光協会		・知立よいところ祭りを知立市役所周辺で行いました。（2017年度～2019年度） ・2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症により中止しました。	・知立よいところ祭りの来場者は毎年約2万人と横ばいでした。2019年度にはeスポーツや水かけパーティを新たに実施し、多くの方に参加いただきました。	・知立よいところ祭りについては、来場者の方に楽しんでもらえるよう、毎年度企画を検討しており、内容の充実が図られています。 ・知立よいところ祭りや知立ドリームイルミネーションの実施を通じて、市民団体との連携が図られています。	・新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、知立よいところ祭りや知立ドリームイルミネーションを実施します。 ・2022年度から、知立駅前暫定広場を活用したにぎわい創出の事業を実施します。 ・知立駅前暫定広場の利用について広く周知し、活動場所の提供について支援します。	
		経済課	・知立よいところ祭りを知立市役所周辺で行いました。（2017年度～2019年度） ・2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症により知立よいところ祭りを中止しました。 ・知立ドリームイルミネーションに対し補助金を交付し、公園等の利用にあたり調整を行いました。（2017年度～2021年度）	・知立よいところ祭りの来場者は毎年約2万人と横ばいでした。2019年度にはeスポーツや水かけパーティを新たに実施し、多くの方に参加いただきました。	・知立よいところ祭りについては、来場者の方に楽しんでもらえるよう、毎年度企画を検討しており、内容の充実が図られています。 ・知立よいところ祭りや知立ドリームイルミネーションの実施を通じて、市民団体との連携が図られています。	・新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、知立よいところ祭りや知立ドリームイルミネーションを実施します。 ・2022年度から、知立駅前暫定広場を活用したにぎわい創出の事業を実施します。 ・知立駅前暫定広場の利用について広く周知し、活動場所の提供について支援します。	
		行政		・駅前広場の整備は、整備に向けてのスケジュールを決めている段階であるため、取組内容はありません。 ・知立ドリームイルミネーションのスペースとして貸し出すために主催者や関係部局と調整を行います。	・2014年度から2021年度まで、毎年知立ドリームイルミネーションのスペースとして新地公園を占用許可をしました。	・知立ドリームイルミネーションに関わる新地公園の苦情の件数が減少傾向にあります。	・今後も多くの人に公園を利用していただけるように努めます。
			都市計画課	・将来利用を見据え、公共空間でにぎわい創出が出来るよう調整を行いました。	・経済課においてにぎわい創出事業が実施されました。	・活用に制限がありますが、活用方法をもっと工夫する必要があります。	・事業で生じる活用可能な公共用地について、情報提供を行います。
			都市開発課				
	商工会		・知立サンバカーニバルを2018年9月16日（知立駅北及び新駅通り周辺）、2019年9月8日（弘法下駐車場）に開催しました。 ※2020年度及び2021年度はコロナ禍にて中止しました。	・市内在住者が多いブラジルという国を身近に感じることが出来る機会を創出することができました。	・大人から子供まで楽しむことができる機会となりました。	・ブラジル人以外でもベトナム、中国等多国籍に渡る人々が住んでいるため、2022年度は多文化共生に相応しい名称に変更して開催します。	



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>8. テーマ横断的実施事項</b>						
	商工事業者		〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・商店街連合会という立場上一つのエリアに限定してイベントを実施するのは難しいですが、会の合意が得られれば実施は可能です。例えばマルシェであれば市外の事業者ばかりでなく、市内の商店にとって今後の集客につながるようなメリットがあれば協力が得られると思います。
	市民団体		〈（一社）ゆめナビジャパン〉 ・毎年12月に新地公園で知立ドリームイルミネーションを開催しました。（2014年度～） ・学生や市民ボランティアと共に電球の取付をしました。 ・知立ドリームイルミネーションでは、点灯式・クリスマスイベントを行いました。（2020年度を除く） ・2018年度から飲食テントの出店を行っていました。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により飲食出店はありませんでした、2019年度・2021年度にも同様に飲食店の出店を行っていました。	〈（一社）ゆめナビジャパン〉 ・知立ドリームイルミネーションについて、愛知県観光協会公式HPの「Aichinow」や、「西三河ぐるっとナビ」で、冬の観光スポット6年連続1位を獲得しました。 ・中京テレビで特集放送(2014年～2017年)、名古屋テレビ(2014年)、NHKは生中継されました(2019年)。	〈（一社）ゆめナビジャパン〉 ・知立ドリームイルミネーションの来場者は知立市民だけではなく、市外からも年々増加傾向で知名度も上がり、知立市の新しい冬の観光スポットになっています。	〈（一社）ゆめナビジャパン〉 ・2023年度に知立ドリームイルミネーション開催10周年を迎えますが、引き続き、開催を目指していきます。
<b>(1)広域的連携による魅力の創出</b> ・愛知県、愛知県観光協会、中部運輸局等による昇龍道プロジェクト等との連携 ・衣浦定住自立圏、西三河広域観光推進協議会との連携 ・観光事業者とのタイアップ	◆行政	経済課	・愛知DCキャンペーン（2017年度～2019年度）、愛知・名古屋観光誘客協議会（2020年度～）、愛知のお城観光推進協議会（2020年度～）、愛知県街道観光推進協議会（2020年度～）、武将観光推進会議、愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会（2021年度～）など、愛知県主催の協議会へ参画し、観光展への出展やパンフレット等の広報媒体の作成などを行いました。 ・知立市の観光資源について企画カードにまとめ、愛知県を通して観光事業者へ提案しました。（2017年度～） ・衣浦定住自立圏及び、西三河広域観光推進協議会において、他市町連携した事業を行いました。（2017年度～） ・名鉄ハイキングについて、周知等の協力をするとともに、市の観光事業についてのポスターを名鉄の主要駅に貼付していただけるよう依頼をしました。	・愛知DCキャンペーン及び愛知・名古屋観光誘客協議会において、観光展に出展し、知立市のPRを行うことができました。 <b>【出展回数】</b> 2018年度：現地参加 2回、資料提供 8回 2020年度：資料提供 1回 2021年度：現地参加 1回、資料提供 4回 ・愛知のお城観光推進協議会、愛知県街道観光推進協議会において作成したパンフレットでは、知立古城跡や池鯉鮒宿について紹介し、PRすることができました。 ・衣浦定住自立圏において、観光パンフレットの作成や、JRや名鉄のハイキングに合わせてテント出展を行うことで、知立市の観光資源についてPRすることができました。また、各市町が作成するポスターに他市町のイベントを記載し、連携してイベントのPRを行いました。 ・西三河広域観光推進協議会では、安城市と知立市のイベントにブース出展を行い、知立市の観光資源についてPRすることができました。また、スタンプラリーやグルメスタンプラリーを実施し、市内の観光名所や知立ブランド認定特産品について周知を図ることができました。	・愛知県や愛知県観光協会と適宜連携が取れています。 ・各協議会事業に参加し、知立市の観光資源についてPRできています。 ・衣浦定住自立圏及び西三河広域観光推進協議会に参加し、他の参加市町とともに連携した事業が実施できています。 ・観光事業者とのタイアップについて、名鉄ハイキング等への協力はしていますが、市から積極的な事業提案は行えていません。	・引き続き、愛知県や愛知県観光協会、参画している協議会と連携し広域的に知立市の観光PRを行います。 ・観光事業者とのタイアップができるよう、観光プランの創出等について検討します。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>8. テーマ横断的実施事項</b>						
	観光協会		・愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会（2021年度～）など、愛知県主催の協議会へ参画し、観光展への出展やパンフレット等の広報媒体の作成などを行いました。	・愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会へ参画し、事業の実施に向け調整しました。	・愛知県や愛知県観光協会と適宜連携が取れています。 ・協議会事業に参加し、知立市の観光資源についてPRできています。 ・観光事業者とのタイアップについて、名鉄ハイキング等への協力はしていますが、市から積極的な事業提案は行えていません。	・引き続き、愛知県や愛知県観光協会、参画している協議会と連携し広域的に知立市の観光PRを行います。 ・観光事業者とのタイアップができるよう、観光プランの創出等について検討します。
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	商工事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	市民団体		<八橋旧蹟保存会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。 ・史跡八橋かきつばたまつり期間中、観光バスに対応しました。（観光事業者から事前に連絡があるため）	<八橋旧蹟保存会> ・成果については把握していません。	<八橋旧蹟保存会> ・取組を行っていないため、評価は困難です。 ・広域的な連携や、観光業者とタイアップして魅力を発信する前に、かきつばたの回復に取り組む必要があると考えています。	<八橋旧蹟保存会> ・他の観光地との連携や、観光事業者とのタイアップについて、知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際には対応します。
			<知立公園花菖蒲育成会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。 ・知立公園花しょうぶまつり期間中、観光バスに対応しました。（観光事業者から事前に連絡があるため）	<知立公園花菖蒲育成会> ・成果については把握していません。	<知立公園花菖蒲育成会> ・広域的な連携や、観光業者とタイアップして魅力を発信する前に、園内の整備を優先的に行う必要があると考えています。	<知立公園花菖蒲育成会> ・他の観光地との連携や、観光事業者とのタイアップについて、知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際には、知立神社にも相談し対応します。



方針	基本方針(2)観光資源の価値の理解を深める観光情報の発信	基本方針の内容と展開する施策
取組主体	行政（協働推進課、経済課、都市計画課、まちづくり課、学校教育課、文化課）	知立市への来訪者を増やしていくためには、より多くの人々が知立市の観光資源について「再発見・新発見」し、魅力を感じる必要があります。そのためには情報発信が不可欠であり、より多くの人々が情報発信主体となるよう、市民をはじめとした多くの人々に観光資源の価値の理解を深めてもらえる施策を展開します。
	観光協会、文化協会、商工会、市民団体、観光関連事業者、商工事業者、JAなど	

※取組主体のうち、策定時のアクションプランで主な取組主体とされてる団体については、◆を付記。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>1. 伊勢物語（平安時代）</b> ：伊勢物語に記された八橋かきつばたのいわれを学ぶ						
<b>(1)伊勢物語の魅力の発信</b> ・伊勢物語を分かりやすく伝えるための冊子等の作成	◆行政	経済課	・特になし	・特になし	・伊勢物語は、八橋のかきつばたをPRする上で鍵となるため、わかりやすい情報発信が必要です。	・知立市や、知立市観光協会のページに伊勢物語についての項目を設け、QRコードでパンフレットに記載するなど、既存媒体を活用した情報発信に努めます。
		文化課	・『新編知立市史 別巻 八橋編』を刊行しました。（2019年度）	・八橋に関する資料を浮世絵、美術工芸、文学、売茶翁関係と幅広く収録しました。	・八橋編は伊勢物語などをわかりやすく伝えるための基本資料として活用できるものと考えます。	・新編知立市史の普及版を刊行するとともに、わかりやすく市民が関心を持てるようなコンテンツ作成に努めます。
	観光協会	・特になし	・特になし	・伊勢物語は、八橋のかきつばたをPRする上で鍵となるため、わかりやすい情報発信が必要です。	・知立市や、知立市観光協会のページに伊勢物語についての項目を設け、QRコードでパンフレットに記載するなど、既存媒体を活用した情報発信に努めます。	
<b>(2)かきつばた園の魅力の発信</b> ・年間を通じたかきつばた園のPR資料の作成 ・八橋八景、歴史的庭園形式、史跡等の情報発信 ・八橋伝説、「ひともとすすき」などの言い伝えや五千円札のデザインなど、ストーリー性を持たせた情報発信 ・観光事業者、交通事業者とのタイアップ	◆観光協会		・知立市や知立市観光協会のホームページで、八橋かきつばた園や周辺の史跡について掲載しました。（2017年度以前～） ・ちりゅっぴのSNSや市のLINE公式アカウントを活用し、史跡八橋かきつばたまつり及び八橋のかきつばたについて情報発信を行いました。（LINEは2021年度～） ・ちりゅっぴチャンネル（YouTube）にて、史跡八橋かきつばたまつり及び八橋のかきつばたについての動画を公開しました。（2021年度） ・史跡八橋かきつばたまつりのPRポスターの駅構内への掲出・パンフレットの設置について名鉄㈱に依頼し、ご協力いただきました。（2017年度以前～）	・八橋かきつばた園や周辺史跡について知っていただくことができました。 【ちりゅっぴチャンネル（かきつばたまつり）再生回数】 2,181回（2022年11月22日時点）	・年間を通して情報は公開されていますが、積極的な情報発信は史跡八橋かきつばたまつり期間又はその直前に集中しています。 ・まつり期間以外にも八橋を訪れていただけよう、かきつばたの花だけではなく、周辺史跡等について、年間を通じてPRしていく必要があります。 ・多くの方に興味をもっていただけよう、ストーリー性を持たせた情報発信を行う必要があります。	・観光展等で使用できるかきつばた園のPR資料の作成について検討します。 ・史跡八橋かきつばたまつりの開催情報と併せて周辺史跡の情報発信を行い、より多くの方に興味を持っていただけるように努めます。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>1. 伊勢物語（平安時代）：伊勢物語に記された八橋かきつばたのいわれを学ぶ</b>						
	観光関連事業者		<p>&lt;名鉄&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅へのポスターを掲出しました。</li> </ul>	<p>&lt;名鉄&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立市観光協会より申請を受領しました。</li> <li>・4/22～5/21 かきつばたまつり/花しょうぶまつりポスター掲出</li> <li>・8/22～9/18 秋葉まつり⇒申請後、掲出承認が完了していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により掲出を取りやめました。</li> </ul>	<p>&lt;名鉄&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>&lt;名鉄&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
	市民団体		<p>&lt;八橋旧蹟保存会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>&lt;八橋旧蹟保存会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>&lt;八橋旧蹟保存会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組を行っていないため、評価は困難です。</li> </ul>	<p>&lt;八橋旧蹟保存会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に情報発信を行うために、作業環境を整える必要があります。（事務室やパソコン等がないため）</li> <li>・花の状態が安定したら、観光事業者や交通事業者とタイアップして魅力を発信していきたいと考えています。</li> </ul>
			<p>&lt;知立市観光ガイドボランティアの会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡八橋かきつばたまつり期間の常駐ガイドを行いました。（2017年度以前～）</li> <li>・まつり期間外にも随時ガイド派遣依頼に対応しました。</li> <li>・来迎寺小学校や知立高校等、地域の学生に向けたガイドを行いました。</li> </ul>	<p>&lt;知立市観光ガイドボランティアの会&gt;</p> <p>【まつり期間中ガイド人数】</p> <p>2017年度：1,295人 2018年度：637人 2019年度：597人 2021年度：102人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度及び2021年度についてはガイド人数が減少しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まつり開催時のアンケートからは、市外・県外の方からの依頼が85%でした。</li> <li>・観光事業者と随時連携し、団体脚等に対してガイドを実施しました。</li> <li>・地域の学生に対して八橋の歴史・魅力を発信することができました。</li> </ul>	<p>&lt;知立市観光ガイドボランティアの会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡や伝説等の収集蓄積を行ってガイド技能の向上を図り、ストーリー性のあるガイドができました。</li> <li>・次世代への歴史認識の継承が図れました。</li> </ul>	<p>&lt;知立市観光ガイドボランティアの会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりわかりやすいガイドができるよう、資料の集積とガイド技能の向上を図ってきたいと考えています。</li> <li>・地域の小・中・高校の歴史課外活動へも参加・協力していきたいと考えています。</li> </ul>



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>1. 伊勢物語（平安時代）：伊勢物語に記された八橋かきつばたのいわれを学ぶ</b>						
	行政	経済課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立市や知立市観光協会のホームページで、八橋かきつばた園や周辺の史跡について掲載しました。（2017年度以前～）</li> <li>・ちりゅっぴのSNSや市のLINE公式アカウントを活用し、史跡八橋かきつばたまつり及び八橋のかきつばたについて情報発信を行いました。（LINEは2021年度～）</li> <li>・ちりゅっぴチャンネル（YouTube）にて、史跡八橋かきつばたまつり及び八橋のかきつばたについての動画を公開しました。（2021年度）</li> <li>・史跡八橋かきつばたまつりのPRポスターの駅構内への掲出・パンフレットの設置について名鉄㈱に依頼し、ご協力いただきました。（2017年度以前～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八橋かきつばた園や周辺史跡について知っていただくことができました。</li> <li>【ちりゅっぴチャンネル（かきつばたまつり）再生回数】 2,181回（2022年11月22日時点）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して情報は公開されていますが、積極的な情報発信は史跡八橋かきつばたまつり期間又はその直前に集中しています。</li> <li>・まつり期間以外にも八橋を訪れていただけよう、かきつばたの花だけではなく、周辺史跡等について、年間を通じてPRしていく必要があります。</li> <li>・多くの方に興味をもっていただけるよう、ストーリー性を持たせた情報発信を行う必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光展等で使用できるかきつばた園のPR資材の作成について検討します。</li> <li>・史跡八橋かきつばたまつりの開催情報と併せて周辺史跡の情報発信を行い、より多くの方に興味を持っていただけるように努めます。</li> <li>・郵便局との包括連携により、市内郵便局へ史跡八橋かきつばたまつりのポスター及びパンフレットの設置、知立郵便局のデジタルサイネージにて史跡八橋かきつばたまつりのPRを行う予定です。（2022年度～）</li> </ul>
		文化課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では評価できません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史民俗資料館での展示や刊行物等において史跡等の情報発信に努めます。</li> </ul>

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>2. 池鯉鮒宿（江戸時代）：東海道池鯉鮒宿の往時の街道文化を感じる</b>						
<b>(1)池鯉鮒宿の魅力の発信</b> ・宿場の図面や史料などの展示 ・観光事業者、交通事業者とのタイアップ ・スマートフォン等のアプリを活用した観光スポットの案内及び説明	◆行政	経済課	・知立市観光交流センターを設置し、「池鯉鮒宿宿並図（複製）」の展示、池鯉鮒宿にちなんだボード展示を行いました。また、知立市史など、池鯉鮒宿に関する書籍を陳列し、来館者に見ていただけるようにしました。（2018年度～2021年度） ・愛知県街道観光推進協会を通じて、松並木や池鯉鮒宿についてテレビ局へ情報提供を行いました。（2020年度） ・愛知県街道観光推進協会では、街道観光パンフレット（2020年度）、池鯉鮒宿のポスター（2021年度）を作成しました。	<b>【知立市観光交流センター来館者数】</b> 2018年度：2,502人 2019年度：2,160人 2020年度：1,228人 2021年度：2,534人 ・2020年3月9日から2020年5月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館しました。 ・来館者に、池鯉鮒宿について知っていただく機会を設けることができました。 ・愛知県街道観光推進協会で作成したパンフレットやポスターを活用し、池鯉鮒宿について情報発信を行うことができました。	・知立市観光交流センターは旧街道沿いにあるため、東海道を歩いている人が立ち寄られることも多く、元から興味関心のある方にとってはニーズにあった情報発信ができています。一方で、池鯉鮒宿を知らない方に対して、興味関心を持ってもらうための情報発信を行っていく必要があります。 ・観光事業者や交通事業者とのタイアップ、スマートフォン等のアプリを活用した情報発信についての取組は不十分です。	・引き続き、愛知県街道観光推進協会に参加し、池鯉鮒宿の魅力を情報発信します。 ・今後も知立市観光交流センターでの展示を行います。 ・SNS、ホームページ、アプリを活用したPR方法を検討します。
		文化課	・歴史民俗資料館において企画展「新発見！東海道池鯉鮒宿宿並図」を開催しました。（2018年度） ・歴史文化保存活用ワークショップを開催しました。（2020年度）	・歴史文化保存活用ワークショップには市民12人及び市職員8人が参加し、「知立市の歴史文化の魅力について」「歴史文化の保存・活用のあり方」について意見交換を行い、提案を報告書としてまとめました。	・スマートフォン等のアプリを活用した案内や仕組みの構築には至っていませんが、宿並図は17世紀後半の池鯉鮒宿の様子を伝える資料として貴重であり、今後の活用にも期待できます。	・絵図、古写真、古文書、文化財などの歴史資料についてデジタル化を行っていますが、知立の魅力につながるものについてオンライン配信するなど積極的な活用に努めます。
	◆観光協会	・知立市観光協会のホームページや観光ガイドブックで池鯉鮒宿について紹介しました。（2017年度～2021年度）	・効果測定ができていません。	・今後も、池鯉鮒宿について興味関心を持ってもらうための情報発信を行っていく必要があります。 ・観光事業者や交通事業者とのタイアップ、スマートフォン等のアプリを活用した情報発信についての取組は不十分です。	・市と連携しながら池鯉鮒宿について積極的に発信していきます。	
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>2. 池鯉鮒宿（江戸時代）：東海道池鯉鮒宿の往時の街道文化を感じる</b>						
	市民団体		<p>&lt;知立市観光ガイドボランティアの会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立公園花しょうぶまつり期間の常駐ガイドを行いました。（2017年以前～）</li> <li>・まつり期間外にも随時ガイド派遣依頼に対応しました。</li> <li>・知立市観光交流センターの展示や、みやげ販売について紹介しました。</li> </ul>	<p>&lt;知立市観光ガイドボランティアの会&gt;</p> <p>【まつり期間中ガイド人数】</p> <p>2017年度：859人 2018年度：637人 2019年度：281人 2021年度：594人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は中止しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立神社を中心に、池鯉鮒宿の魅力を、往時の模型・写真・地形図を活用してガイド活動を行いました。</li> <li>・知立市観光交流センターを中心にガイド活動の強化を図りました。</li> </ul>	<p>&lt;知立市観光ガイドボランティアの会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドの際に、模型や写真を見ていただいたことで、往時の池鯉鮒宿への理解を一層深めてもらうことができました。</li> <li>・池鯉鮒宿の魅力を、市内外の方に広く伝えることができました。</li> </ul>	<p>&lt;知立市観光ガイドボランティアの会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立観光交流センターを中心に、池鯉鮒宿をはじめとした知立市の魅力を発信していきたいと考えています。</li> <li>・案内板・道標の整備を一層推進したいと考えています。</li> <li>・知立市歴史民俗資料館との連携を深め、来訪者にとってより分かりやすい案内ができるよう取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性	
<b>3. 煎茶文化：方巖売茶翁の煎茶を楽しむ</b>							
<b>(1)方巖売茶翁の認知度の向上</b> ・方巖売茶翁や売茶流煎茶について学ぶことができるwebサイトの開設 ・方巖売茶翁の業績や売茶流煎茶を伝える機会やツールの創出	◆観光協会		・知立市ホームページに方巖売茶翁について新たに記載したページを作り、QRコードを2022年度史跡八橋かきつばたまつりのパンフレットに記載しました。（2021年度） ・方巖売茶翁について、知立市観光協会のホームページで公開しています。	・効果測定ができていません。	・方巖売茶翁については、知立市や知立市観光協会のホームページで紹介していますが、売茶流煎茶についての積極的な情報発信は行えていません。	・今後も史跡八橋かきつばたまつりのパンフレットに、方巖売茶翁についての情報を見られるQRコードを掲載し、情報発信に努めます。 ・史跡八橋かきつばたまつり期間中以外にも、方巖売茶翁や売茶流煎茶について学ぶ機会が作れるよう、関係者と協議します。	
		経済課	・知立市ホームページに方巖売茶翁について新たに記載したページを作り、QRコードを2022年度史跡八橋かきつばたまつりのパンフレットに記載しました。（2021年度）	・効果測定ができていません。	・方巖売茶翁については、知立市や知立市観光協会のホームページで紹介していますが、売茶流煎茶についての積極的な情報発信は行えていません。	・今後も史跡八橋かきつばたまつりのパンフレットに、方巖売茶翁についての情報を見られるQRコードを掲載し、情報発信に努めます。 ・史跡八橋かきつばたまつり期間中以外にも、方巖売茶翁や売茶流煎茶について学ぶ機会が作れるよう、関係者と調整していきます。	
		行政	文化課	・歴史民俗資料館において企画展「八橋売茶翁－没後190年－」を開催しました。（2017年度） ・文化会館において、市民とつくる舞台芸術プロジェクト「長線がつなぐ知立と沖縄」を開催しました。（2019年度） ・文化会館において、「立体パノラマ絵草紙『おさき玉城恋の八橋』」を開催しました。（2020年度） ・文化会館において、知立の山車文楽新作プロジェクト「おさき玉城恋の八橋」を開催しました。（2021年度）	・企画展「八橋売茶翁－没後190年－」には約3,361人の来館がありました。	・方巖売茶翁関係資料を将来にわたり継承できるように適切な保存を図るとともに、その業績を正しく評価し、わかりやすく伝えていくことは大切なことであると考えます。	・方巖売茶翁関係資料についての調査研究、わかりやすい解説コンテンツ等の作成に努めます。
		観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
		文化協会		・特になし	・特になし	・方巖売茶翁や売茶流煎茶について伝え、発信していくことは重要だと考えています。	「八橋売茶翁の人生」の紙芝居（15枚）を作成しています。
		市民団体		<八橋旧蹟保存会> ・特になし	<八橋旧蹟保存会> ・特になし	<八橋旧蹟保存会> ・取組を行っていないため、評価は困難です。	<八橋旧蹟保存会> ・方巖売茶翁の認知度を高めるため、史跡八橋かきつばたまつり期間中の茶会に限らず、煎茶体験の機会を作ることは大切だと考えています。 ・方巖売茶翁や、売茶流煎茶についてのPRに協力していきます。



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>4. まつり：由緒あるまつりを楽しむ</b>						
<b>(1)まつりの魅力の発信</b> ・遍照院、知立神社、無量壽寺を巡るルートの設定など、まつり時期以外にも楽しめる観光資源情報の発信	◆観光協会		・特になし	・特になし	・まつりの魅力の発信は、まつり開催時期に集中して行っており、それ以外の時期での積極的な情報発信はできていません。	・通年的な情報発信が必要かどうかの検討を含め、まつりの魅力の発信について取り組みます。
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	行政	経済課	・特になし	・特になし	・まつりの魅力の発信は、まつり開催時期に集中して行っており、それ以外の時期での積極的な情報発信はできていません。	・通年的な情報発信が必要かどうかの検討を含め、まつりの魅力の発信について取り組みます。
		文化課	・特になし。	・特になし。	現状では評価できません。	・歴史民俗資料館での展示や刊行物等において情報発信に努めます。
	市民団体		<八橋旧蹟保存会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。	<八橋旧蹟保存会> ・成果については把握していません。	<八橋旧蹟保存会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応できています。	<八橋旧蹟保存会> ・八橋に残る在原業平ゆかりの史跡を巡るルートや、鎌倉街道を紹介していきたいと考えています。
			<知立公園花菖蒲育成会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。	<知立公園花菖蒲育成会> ・成果については把握していません。	<知立公園花菖蒲育成会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応できています。	<知立公園花菖蒲育成会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際には、知立神社にも相談し対応していきます。
			<弘栄会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。	<弘栄会> ・成果については把握していません。	<弘栄会> ・弘法さんの魅力の発信について、遍照院、知立市、知立市観光協会と協力しながら、取り組んでいきたいと考えています。	<弘栄会> ・観光名所としての弘法山遍照院、またそれに付随するイベントなどの周知について検討していきます。
<b>(2)山車の魅力の発信</b> ・ユネスコ無形文化遺産登録のPR ・山車の常設展示施設を活用した魅力の発信 ・地域伝統芸能全国大会でのPR	◆行政	経済課	・知立まつりのパンフレットや市及び観光協会のホームページにユネスコ無形文化遺産に登録された旨を記載しPRしました。(2017年度～) ・知立市観光交流センターにおいて、知立まつり開催日に併せて、知立まつり関連の展示を行いました。(2018年度～)	・効果測定ができていません。	・知立まつり及び知立の山車文楽とからくりについては、知立神社の奉納行事であると同時に、知立市の魅力的な観光資源であると考えています。積極的にPRできるよう、祭礼関係者と連携をとって取り組んでいく必要があります。	・新型コロナウイルス感染症の影響により積極的なPRを自粛しています。 ・祭礼関係者及び文化課と連携し、山車の魅力の情報発信について取り組みます。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>4. まつり：由緒あるまつりを楽しむ</b>						
	◆行政	文化課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ユネスコ無形文化遺産登録記念特別上演『山車文楽とからくり』」を開催しました。（2017年度、ユネスコ登録記念事業実行委員会主催）</li> <li>・改元記念「知立の山車文楽とからくり」特別上演を実施しました。（2019年度、ユネスコ登録記念事業実行委員会主催）</li> <li>・秋の山車文楽上演を開催しました。（2018年度～2021年度）</li> <li>・愛知県民俗芸能大会に山車文楽が出演しました。（2018年度）</li> <li>・あいち山車まつり日本一協議会の事業に参加し、魅力発信を行いました。</li> <li>・愛知県の山車まつりポータルサイトに情報を掲載しPRしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度に「知立の山車文楽とからくり」が「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産となり、その後の知立まつりやイベントにおいてこれまで以上の集客を呼びました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度以降コロナウイルス感染症により祭礼行事の継承が困難な状況となりました。記録保存やウェブによる動画配信等がより重要であると考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策をふまえた祭礼行事の継承と情報発信に努めます。</li> </ul>
	◆観光協会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立まつりのパンフレットや市及び観光協会のホームページにユネスコ無形文化遺産に登録された旨を記載しPRしました。（2017年度～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果測定ができていません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立まつり及び知立の山車文楽とからくりについては、知立神社の神事であると同時に、知立市の魅力的な観光資源であると考えています。積極的にPRできるよう、祭礼関係者と連携をとって取り組んでいく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により積極的なPRを自粛しています。</li> <li>・祭礼関係者及び文化課と連携し、山車の魅力の情報発信について取り組みます。</li> </ul>
	◆市民団体		<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や観光協会に協力し、知立まつりや山車文楽・からくりのPRを行いました。（2017年度以前～）</li> <li>・山車文楽とからくりの海外公演を行いました。（2017年度・2018年度）</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立まつりのチラシ、パンフレットの作成及び配布に協力し、広く周知を行いました。</li> <li>・知立からくり保存会がフランスで開催された「世界人形劇フェスティバル」に参加しました（2017年度）。</li> <li>・山車文楽保存会が日本とスウェーデンの外交樹立150周年を記念し、山車文楽をストックホルムで上演しました（2018年度）。</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山車文楽とからくりや山車の巡行、奉納についての情報発信は、各町・各保存会によって行っています。</li> <li>・「知立まつり」として統一的にPRをしていくには、行政や観光協会と連携して各町一丸となって取り組む必要があります。</li> <li>・公演機会を活用し、山車文楽とからくりについてPRできています。</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や観光協会と連携しながらPRに取り組んでいきます。</li> <li>・SNSの活用について検討していきます。</li> </ul>
	観光関連事業者		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。</li> </ul>			



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>5. ウォーキング+観光：ウォーキング+αを楽しむ</b>						
<b>(1)ウォーキング+αを楽しめる情報提供</b> ・スマートフォン等のアプリを活用したルート案内 ・東海道宿場散歩みち（新日本歩く道100選）や彫刻プロムナードなど、現存する多くのウォーキングルートのわかりやすい情報提供	◆行政	経済課	・特になし	・特になし	・経済課においては、ウォーキングルートの積極的な情報発信は行えていません。	・都市計画課と連携しながら、ウォーキングルート上にある観光資源についてわかりやすい情報提供ができるよう努めます。
		都市計画課	・東海道宿場散歩みち（新日本歩く道100選）や野外彫刻プロムナード展について、チラシやマップを公共施設で配布しました。また、市ホームページにて情報提供を行いました。	・東海道宿場散歩みち簡易マップを作成し、公共施設及び市ホームページで情報提供しました。（2017年度～） ・野外彫刻プロムナード展について、チラシを公共施設で配布し、市ホームページ、広報、LINEで情報提供しました。（毎年実施）	・東海道宿場散歩みちや野外彫刻プロムナード展について、情報提供により多くの方に事業を知ってもらうことができました。	・今後もわかりやすい情報提供に努めます。
	◆観光協会	・特になし	・特になし	・経済課においては、ウォーキングルートの積極的な情報発信は行えていません。	・都市計画課と連携しながら、ウォーキングルート上にある観光資源についてわかりやすい情報提供ができるよう努めます。	
<b>6. 産業観光：先進的、特徴的な知立の産業を体感する</b>						
<b>(1)産業情報の発信</b> ・知立市における他に誇るべき企業や特産品のPR ・主要都市等における物産展への出展	◆商工会		・2017年4月から知立ブランドとして認定事業を開始しました。第1回認定は2017年4月～3年間、第2回認定は2020年4月～3年間で行いました。	・知立ブランド認定事業者の店舗・商品等を、パンフレット作製、掲示スペース設置により知名度向上に繋がりました。	・知立ブランド参加事業者から、店舗のブランド力向上につながっているとの評価をいただいています。	・第3回認定事業（2023年4月～）を行う予定です。
	◆観光協会		・ちりゅっぴチャンネルにおいて、希望のあった知立ブランド認定特産品について紹介しました。（2021年度）	【ちりゅっぴチャンネル】 動画作成数：10本（9店舗） 総再生回数：5,540回（2022年11月24日時点）	・商工会と連携し、知立ブランド認定特産品のPRを行えています。 ・特産品以外の企業についてのPRは行えていません。今後は情報収集から始める必要があります。	・引き続き、知立ブランド認定特産品について、商工会と連携してPRします。
	行政	経済課	・観光展や物産展への出店依頼があった際には、知立市商工会と調整し、知立ブランド認定特産品の店舗に出店していただきました。（2017年度～） ・ちりゅっぴチャンネルにおいて、希望のあった知立ブランド認定特産品について紹介しました。（2021年度）	【ちりゅっぴチャンネル】 動画作成数：10本（9店舗） 総再生回数：5,540回（2022年11月24日時点）	・商工会と連携し、知立ブランド認定特産品のPRを行えています。 ・特産品以外の企業についてのPRは行えていません。今後は情報収集から始める必要があります。	・引き続き、知立ブランド認定特産品について、商工会と連携してPRします。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>6. 産業観光：先進的、特徴的な知立の産業を体感する</b>						
	商工事業者		〈知立市商店街連合会〉 ・基本発展会に所属している事業者は商工会にも所属しているため、商工会の会員として取り組んでいる事業者はあるかもしれませんが、連合会としては特に実績はありません。	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・依頼があれば協力していきたいと思えます。
	文化協会		・特になし	・特になし	・現在の取組はないため、評価は困難です。	・知立の特産物の「マコモダケ」の知名度を上げようと「知立マコモダケ音頭」を作成中です。出来上がった後、歌と踊りを覚えて頂き、広めたいと考えています。
	JA		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
<b>(2)体験情報の発信</b> ・工場見学やものづくり体験、収穫体験などの情報発信	◆観光協会		・特になし	・特になし	・体験情報についての情報発信は行っていません。	・知立市内で体験できるものがあるか、情報を収集し、PRしていくことの可否を、事業者と協議します。
	行政	経済課	・「西三河ぐるっとナビ」で、市内の体験施設について情報発信を行いました。	・情報発信を行い、周知を図ることができました。	・知立市内で体験できるものがあるか積極的に情報収集をしていく必要があります。	・知立市内で体験できるものがあるか、情報を収集し、PRしていくことの可否を、事業者と協議します。
	商工会		・特になし	・特になし	・特になし	・特になし
	商工事業者		〈知立市商店街連合会〉 ・商店街の発展会は商業系の店舗が多いためものづくり体験などは難しく実績はありません。	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし
	JA		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>7. にぎわい交流：多くの人々が交流するにぎわいのあるまち</b>						
<b>(1) イベント等の情報発信</b> ・ イベント等の効果的な情報発信 ・ SNSの活用やイベント中のリアルタイムな情報発信	◆観光協会		・ 広報誌への掲載や報道発表を行った（2017年度以前～）他、市のLINE公式アカウント（2021年度～）、フェイスブック（2020年度～）での情報発信を行いました。 ・ ちりゅっぴや知立市観光交流センターのSNSでイベント情報を発信しました。	・ 市や観光協会主催のイベントについて、広く周知を行うことができました。 ・ ちりゅっぴのSNS等：ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ツイキャス（配信用サイト）、YouTube ・ 知立市観光交流センターのSNS：ツイッター ・ 特に、ちりゅっぴの活動についてはツイッターを活用し、イベント中のリアルタイムな情報を伝えることができました。	・ 従来の紙を使用した広報の他、SNSやデジタル媒体を活用した情報発信に取り組んでいます。	・ 引き続き、紙媒体及びデジタル媒体を活用し、イベントの効果的な情報発信に取り組めます。
		行政	・ 広報誌への掲載や報道発表を行った（2017年度以前～）他、市のLINE公式アカウント（2021年度～）、フェイスブック（2020年度～）での情報発信を行いました。 ・ ちりゅっぴや知立市観光交流センターのSNSでイベント情報を発信しました。	・ 市や観光協会主催のイベントについて、広く周知を行うことができました。 ・ ちりゅっぴのSNS等：ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ツイキャス（配信用サイト）、YouTube ・ 知立市観光交流センターのSNS：ツイッター ・ 特に、ちりゅっぴの活動についてはツイッターを活用し、イベント中のリアルタイムな情報を伝えることができました。	・ 従来の紙を使用した広報の他、SNSやデジタル媒体を活用した情報発信に取り組んでいます。	・ 引き続き、紙媒体及びデジタル媒体を活用し、イベントの効果的な情報発信に取り組めます。
		まちづくり課	・ バス車内に、イベント等に関するポスターを掲示し、バス利用者に情報発信を行いました。	・ ポスター掲示による成果は不明です。	・ 掲示することにより、一定数の利用者はポスターを目にしているものと考えられます。	・ 今後も引き続きバス車内において、イベント等に関する情報発信を継続していきます。
		協働推進課	・ 広報紙、ホームページ、LINE等を活用し、イベント情報を効果的に発信しました。（2017年度～2021年度、LINEのみ2020年10月～）	・ 来場者数については、各イベント主催担当課が管理しています。	・ 評価についても、参加者数等から担当課が判断します。	・ 引き続き広報紙、ホームページ、LINE等を活用した情報発信を継続的に取り組めます。
		商工会	・ 2020年4月に、知立市商工会のSNSアカウントをInstagramとフェイスブックにて作成しました。	・ 市内事業者店舗・商品、イベント等をタイムリーに紹介することにより、周知の一助となる事ができました。	・ SNS利用者は増加傾向にある中で、閲覧者は増加傾向にあります。	・ 引き続き、市内事業者の一助となるようSNSの活用を続けます。
		観光関連事業者	<㈱キャッチネットワーク> ・ KATCH 公式SNS(FB&TW) 及びWebコラム「近所のはなし」SNSでの市内イベント等の発信を行いました。 <名鉄> ・ 広告物の掲出をしました。	<㈱キャッチネットワーク> ・ 都度、取材した市の情報を発信を行いました。 <名鉄> ・ 広告物の掲出をしました。	<㈱キャッチネットワーク> ・ 特になし	<㈱キャッチネットワーク> ・ 今後も継続的に実施予定です。 <名鉄> ・ 広告物の掲出を今後も実施予定です。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>7. にぎわい交流：多くの人々が交流するにぎわいのあるまち</b>						
	商工事業者		<p>〈知立市商店街連合会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>〈知立市商店街連合会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>〈知立市商店街連合会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>〈知立市商店街連合会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでの情報発信に取り組んでいきます。現在は試験運用の段階で知立市商店街連合会から各展示会の店舗紹介へと情報発信できる仕組みを作り、ログインボーナスなどの特典を設けたり、店舗のリアルタイムの情報を発信できるようなシステムを2022年度内には確立して公開を予定しています。</li> </ul>
	市民団体		<p>&lt;（一社）知立青年会議所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業の実施の際は、Facebook、Instagram等での告知を行いました。</li> <li>・上部団体である、愛知ブロック協議会の広報・ブランディング担当とも連携し、県内様々な青年会議所の活動の発信を行いました。</li> </ul> <p>&lt;（一社）ゆめナビジャパン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報ちりゅうでの掲載、小中学校でのチラシ配布やフェイスブックやInstagramなどSNSを活用して情報発信をしました。（2017年度～2021年度）</li> <li>・中京テレビ、名古屋テレビにて特集放送されました。</li> </ul>	<p>&lt;（一社）ゆめナビジャパン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県観光協会公式HPであるAichinowや西三河ぐるっとナビで冬の観光スポット6年連続1位を獲得、中京テレビ特集放送では夕方番組「キャッチ」での最高視聴率を獲得しました。</li> </ul>	<p>&lt;（一社）ゆめナビジャパン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブックやInstagramなどフォロワー数や閲覧数が年々増加傾向にあり、情報発信ができています。</li> </ul>	<p>&lt;（一社）ゆめナビジャパン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きフェイスブックやInstagramなどフォロワーの拡充を図り、さらには今後TikTokや動画配信も活用して、知名度アップを目指します。</li> </ul>
			<p>&lt;寺の市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺の市のチラシを作成し、地域の新聞店の協力の下、新聞折り込みを行いました。（2017年～）</li> <li>・ホームページを作成し、情報発信を行いました。（2017年～）</li> <li>・Instagramを開設し、イベントの情報発信を行いました。（2019年1月～）</li> </ul>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寺の市のチラシを3,000～4,000部作成し、新聞折り込みで地域の人にイベントの告知を行いました。</li> <li>・2019年からホームページの作成、編集ができるようになりました。</li> <li>・Instagramフォロワー数：3,833人（2022年11月28日現在）</li> </ul>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットやSNSを活用して、幅広い年齢層に対応した情報発信ができています。</li> </ul>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もネットやSNSを活用してイベント徐情報を発信していきます。</li> </ul>



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>8. テーマ横断的实施事項</b>						
<b>(1)観光資源の魅力の広域的な発信</b> ・西三河広域観光推進協議会サイト「ぐるっとナビ」の活用 ・観光ルート、観光資源のオープンデータ化とデータの活用促進支援 ・刈谷ハイウェイオアシスや中部国際空港等、人の集まる場所でのPR活動	◆観光協会		・史跡八橋かきつばたまつり・知立公園花しょうぶまつりのPRキャラバンを行いました。(2020年度は中止) ・刈谷ハイウェイオアシス内のオアシス館において、知立市のPR動画や観光パンフレットを設置し、イベント等についてPRしました。	・PRキャラバンでは、刈谷ハイウェイオアシス(2017年度)や名鉄知立駅(2017年度・2019年度)でまつりについてPRを行いました。	・PRキャラバンや観光展への参加により、人対人の直接的なPRができています。 ・観光ルート、観光資源のオープンデータ化は行えていません。	・インターネットを通しての広域的な情報発信に努めます。 ・観光ルート、観光資源のオープンデータ化について関係団体と調整し取り組みます。
	◆行政	経済課	・「西三河ぐるっとナビ」を活用し、市内の観光スポットやイベントについて情報発信を行いました。 ・史跡八橋かきつばたまつり・知立公園花しょうぶまつりのPRキャラバンを行いました。(2020年度は中止) ・名古屋市や他県で開催される愛知の観光展に出展しました。 ・刈谷ハイウェイオアシス内のオアシス館において、知立市のPR動画や観光パンフレットを設置し、イベント等についてPRしました。	・「西三河ぐるっとナビ」やオアシス館において、知立市の観光スポット、イベント、モデルルートの情報を発信できました。 ・PRキャラバンでは、刈谷ハイウェイオアシス(2017年)や名鉄知立駅(2017年・2019年)でまつりについてPRを行いました。 ・観光展への参加：2018年度：現地参加2回、資料提供8回、2020年度：資料提供1回、2021年度：参加1回、資料提供4回	・インターネットを通して、随時イベント情報などの発信を行っています。 ・PRキャラバンや観光展への参加により、人対人の直接的なPRができています。 ・観光ルート、観光資源のオープンデータ化は行えていません。	・引き続き、「西三河ぐるっとナビ」をはじめ、インターネットを通しての広域的な情報発信に努めます。 ・新型コロナウイルス感染症への対策を取りながら、観光展でのPRを行います。 ・観光ルート、観光資源のオープンデータ化について関係団体と協議し取り組みます。
		文化課	・刈谷ハイウェイオアシスに「池鯉鮒宿見て歩きマップ」等のパンフレットを配布しました。	・刈谷ハイウェイオアシスから、パンフレットがなくなったので持ってきてほしいという連絡を受けるので、パンフレットを見ている来訪者が一定数いました。	・各地からの来訪者への情報発信につながっていると考えます。	・引き続き広域的な情報発信に努めます。
	観光関連事業者		<名鉄> ・広告物の掲出協力をしました。	<名鉄> 知立市観光協会より申請を受領しました。 ・4/22～5/21 かきつばたまつり/花しょうぶまつりポスター掲出 ・8/22～9/18 秋葉まつり⇒申請後、掲出承認は完了していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により掲出を取りやめました。	<名鉄> ・特になし	<名鉄> ・特になし

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>8. テーマ横断的实施事項</b>						
	市民団体		<p>&lt;八橋旧蹟保存会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政や観光協会に協力し、八橋のかきつばたについて情報発信を行いました。(2017年度以前～)</li> <li>史跡八橋かきつばたまつりのPRキャラバンを行いました。(2020年度は中止)</li> </ul>	<p>&lt;八橋旧蹟保存会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷ハイウェイオアシス(～2018年度)や名鉄知立駅(～2019年度)で、史跡八橋かきつばたまつりに関して広くPRできました。</li> </ul>	<p>&lt;八橋旧蹟保存会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミスかきつばたの廃止や、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人が集まる場所でのPR活動機会は減少しています。</li> <li>市や観光協会からの原稿確認や写真の提供依頼については対応できています。</li> </ul>	<p>&lt;八橋旧蹟保存会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市や観光協会と連携し、八橋のかきつばたについてPRしていきます。</li> </ul>
			<p>&lt;知立公園花菖蒲育成会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政や観光協会に協力し、知立公園花しょうぶ祭りの情報発信を行いました。(2017年度以前～)</li> <li>知立公園花しょうぶまつりのPRキャラバンを行いました。(2020年度は中止)</li> </ul>	<p>&lt;知立公園花菖蒲育成会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名鉄知立駅(2017年度～2019年度)やイオンモール大高(～2018年度)、刈谷ハイウェイオアシス(～2018年度)で、知立公園花しょうぶまつりに関して広くPRできました。</li> </ul>	<p>&lt;知立公園花菖蒲育成会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミスかきつばたの廃止や、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人が集まる場所でのPR活動機会は減少しています。</li> <li>市や観光協会からの原稿確認や写真の提供依頼については対応できています。</li> </ul>	<p>&lt;知立公園花菖蒲育成会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市や観光協会と連携し、知立公園の花しょうぶについてPRしていきます。</li> </ul>
			<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果については把握していません。</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弘法さんの魅力の発信について、遍照院、知立市、知立市観光協会と協力しながら、取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知立市や知立市観光協会から、協力依頼があった際には対応していきます。</li> <li>遍照院の行事について、宗教的側面と観光側面があるため、住み分けが難しいですが、行事の案内チラシ等についてなるべく広く設置し、PRしていきたいと考えています。</li> </ul>
<p><b>(2)市民への魅力の情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>副読本の作成など学校教育の場における子どもたちへの理解の促進</li> <li>広報、HPを活用した市民への魅力の発信</li> <li>観光に関する出前講座の実施</li> </ul>	◆行政	経済課	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌への掲載や報道発表を行った(2017年度以前～)他、市のLINE公式アカウント(2021年度～)、フェイスブック(2020年度～)での情報発信を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に対し、広報媒体を通してイベント情報を提供できました。</li> <li>出前講座を通して、市の観光資源や観光事業について伝えることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の広報媒体を活用したイベント情報の提供について取り組んでいます。</li> <li>副読本の作成等については取り組んでいません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も市の広報媒体や出前講座を通じて、観光情報発信に取り組めます。</li> <li>学校教育の場において、観光資源についての興味・関心を持ってもらうためにはどのような方法が効果的か、学校教育課と協議しながら情報の発信に努めます。</li> </ul>
		協働推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙、ホームページ、LINE、カタログポケット等を活用し、市の魅力等の情報を効果的に発信しました。(2017年度～2021年度、LINE・カタログポケットは2020年10月～)</li> </ul>	<p>【広報紙発行部数】</p> <p>2017年度 726,350冊 2021年度 382,611冊</p> <p>※広報紙は2020年10月から月1回発行に変更しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「カタログポケット」を活用し、多言語で情報配信が来ています。日本語を母国語としない外国籍の方にも市の魅力や情報を届けられるようになりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き広報紙及び市ホームページを活用した情報発信を継続的に取り組みます。</li> </ul>



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>8. テーマ横断的实施事項</b>						
	◆行政	文化課	・資料館イベントや市史の刊行など、その都度、広報、HP、SNSを活用した情報発信を行いました。 ・経済課による観光ガイドボランティア養成講座の講師を務めました。	・土器づくり講座などのイベント参加者も多く、また、市史が刊行されると購入者が増えるので、情報発信に効果がありました。	・イベントなどの開催時のみ情報発信を行っているので、もっと積極的にSNSを活用した情報発信を行う必要があると考えます。	・子どもたちや一般向けに知立市の歴史をわかりやすく伝えるために『新編 知立市史』の普及版を刊行します。
		学校教育課	・小学3・4年生が社会科の学習で使用する社会科副読本『ちりゅう』にて知立まつりや山車文楽について紹介しています。	・小学校4年生が社会科で「きょう土の伝統・文化と先人たち」の学習をする際、知立まつりや山車文楽について必ず取り上げ、理解を深めさせました。	・地元の伝統文化について理解を深めた児童が知立まつりに参加したり見学に行ったりしています。	・今後も、社会科や総合的な学習の時間の授業を通して、知立まつりや山車文楽について児童に学ばせ、地元の伝統文化に興味関心をもたせることができるよう努めます。
	観光協会	・広報誌への掲載や報道発表を行った（2017年度以前～）他、市公式のLINE（2020年～）、フェイスブック（2021年度～）での情報発信を行いました。	・市民に対し、広報媒体を通してイベント情報を提供できました。 ・出前講座を通して、市の観光資源や観光事業について伝えることができました。	・市の広報媒体を活用したイベント情報の提供について取り組んでいます。 ・副読本の作成等については取り組めていません。	・今後も市の広報媒体や出前講座を通じて、観光情報発信に取り組めます。 ・学校教育の場において、観光資源についての興味・関心を持ってもらうためにはどのような方法が効果的か、学校教育課と調整しながら情報の発信に努めます。	
	市民団体	<八橋旧蹟保存会> ・2020年に『三河国八橋』を作成しました。 ・「ちりゅうチャンネル」でかきつばたの育成について発信しました。（2021年度）	<八橋旧蹟保存会> ・『三河国八橋』を、市内小中学校へ各50部寄贈し、子どもたちに八橋について知ってもらう機会を作ることができました。 ・ちりゅうチャンネルで市内外の人に八橋のかきつばたについて知ってもらうことができました。	<八橋旧蹟保存会> ・『三河国八橋』や、ちりゅうチャンネルを通して、八橋の魅力発信、理解促進に取り組んでいます。	<八橋旧蹟保存会> ・引き続き市民や市外の方に向け、八橋の魅力を発信できるよう取り組んでいきます。	
<b>(3)来訪者への魅力の情報発信</b> ・景観に配慮した案内板整備 ・デジタルサイネージの設置等による観光情報の発信	◆行政	経済課	・特になし	・特になし	・既存の案内板の修繕等は行っていますが、新たな整備は実施していません。	・必要に応じて案内板の作り替えや内容の見直しを行います。 ・案内板にQRコードを貼付し、詳しい情報を入手できるような工夫を検討します。
		都市計画課	・散歩みちに案内看板や車止めを設置しました。	<b>【車止め設置】</b> 2021年度：1基（猿渡川） <b>【案内看板設置】</b> 2017年度：1基（知立神社） 2018年度：1基（無量壽寺） 2019年度：1基（東海道松並木）	・東海道宿場散歩みち案内看板について、散歩みち協議会にて内容やデザインを協議し、景観に配慮したわかりやすい看板を設置することができました。	・今後も必要性、安全性を加味し、車止めの設置等整備に努めます。
		文化課	・特になし	・特になし	・現状では評価できません。	・スマートフォン等を活用した案内解説システムの導入等を検討します。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>8. テーマ横断的实施事項</b>						
	◆観光協会		・特になし	・特になし	・既存の案内板の修繕等は行っていますが、新たな整備は実施していません。	・必要に応じて案内板の作り替えや内容の見直しを行います。 ・案内板にQRコードを貼付し、詳しい情報を入手できるような工夫を検討します。
(4)若年層への情報発信 ・SNSの活用やイベント中のリアルタイムな情報発信	◆観光協会		・市のLINE公式アカウント、フェイスブック、ちりゅっぴや知立市観光交流センターのSNSを活用して情報発信を行いました。	・市や観光協会主催のイベントについて、広く周知を行うことができました。 【ちりゅっぴのSNS等】 ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ツイキャス（配信用サイト）、YouTube 【知立市観光交流センターのSNS】 ツイッター ・特に、ちりゅっぴの活動についてはツイッターを活用し、イベント中のリアルタイムな情報を伝えることができました。	・SNS等を活用した情報発信について取り組んでいます。	・引き続き、デジタル媒体を活用し、イベントの効果的な情報発信に取り組みます。
	行政	経済課	・市のLINE公式アカウント、フェイスブック、ちりゅっぴや知立市観光交流センターのSNSを活用して情報発信を行いました。	・市や観光協会主催のイベントについて、広く周知を行うことができました。 【ちりゅっぴのSNS等】 ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、ツイキャス（配信用サイト）、YouTube 【知立市観光交流センターのSNS】 ツイッター ・特に、ちりゅっぴの活動についてはツイッターを活用し、イベント中のリアルタイムな情報を伝えることができました。	・SNS等を活用した情報発信について取り組んでいます。	・引き続き、デジタル媒体を活用し、イベントの効果的な情報発信に取り組みます。
	観光関連事業者		<㈱キャッチネットワーク> ・KATCH 公式SNS(FB&TW) 及びWebコラム「近所のはなし」SNSでの市内イベント等の発信しました。	<㈱キャッチネットワーク> ・都度、取材した市の情報を発信しました。	<㈱キャッチネットワーク> ・特になし	<㈱キャッチネットワーク> ・今後も継続的に実施予定です。



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>8. テーマ横断的实施事項</b>						
	市民団体		<（一社）ゆめナビジャパン> ・小中学校でのチラシ配布や2020年よりフェイスブックやインスタグラムなどSNSを活用して情報発信をしました。また、新地公園にて名古屋テレビ、NHKにて生中継されました。	<（一社）ゆめナビジャパン> ・SNSを見た市外の方々の来場者が多くなりました。	<（一社）ゆめナビジャパン> ・今後はさらなる若年層のフォロワー獲得のため、動画配信やライブ配信する必要があります。	<（一社）ゆめナビジャパン> ・今後は様々なSNSを用いてフォロワーの拡大に努めていきます。
			<八橋旧蹟保存会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。	<八橋旧蹟保存会> ・成果については把握していません。	<八橋旧蹟保存会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応できています。	<八橋旧蹟保存会> ・SNSを活用できる人材がいれば、八橋旧蹟保存会でも活用していきたいと考えています。
			<知立公園花菖蒲育成会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。	<知立公園花菖蒲育成会> ・成果については把握していません。	<知立公園花菖蒲育成会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応できています。	<知立公園花菖蒲育成会> ・SNSを活用できる人材がいれば、知立公園花菖蒲育成会でも活用していきたいと考えています。
			<弘栄会> ・知立市や知立市観光協会から協力依頼があった際に随時対応しました。	<弘栄会> ・成果については把握していません。	<弘栄会> ・弘法さんのにぎわいづくりや、魅力の発信にはSNSの活用も必要だと考えています。	<弘栄会> ・現状、弘栄会主催のイベントはなく、遍照院の行事や観光協会主催のイベントへの協力を行っています。今後、遍照院等の意見も聞きながら、SNSの活用について検討していきたいと考えています。
			<寺の市> ・インスタグラムを開設し、イベントの情報発信を行いました。（2019年1月～）	<寺の市> ・インスタグラムフォロワー数：3,833人（2022年11月28日現在）	<寺の市> ・インスタグラムを活用し、寺の市の開催情報や出店者の情報を提供できています。 ・主催者側だけでなく、出店者や来場者からも寺の市について投稿があり、様々な人が情報発信の主体となっています。	<寺の市> ・今後もSNSを活用してイベントの情報発信を行います。
			<知立まつり関係者> ・知立からくり保存会では、フェイスブックで公演情報等を発信しました。（2017年度）	<知立まつり関係者> ・知立からくり保存会フェイスブックフォロワー数：165人（2022年11月28日現在）	<知立まつり関係者> ・SNSの活用については積極的に取り組めていません。情報発信の在り方について、五か町及び行政、観光協会ですり合わせる必要があります。	<知立まつり関係者> ・まつり関係者（五か町、知立神社）と行政、観光協会とSNSの活用について検討していきます。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>8. テーマ横断的实施事項</b>						
<b>(5)「ちりゅっぴ」の活用</b> ・ちりゅっぴの各種イベントへの登場によるPR ・ちりゅっぴを活用した物品の製造、販売の促進 ・ちりゅっぴを活用したイベントの開催	◆観光協会		・イベントへ参加し知立市のPRを行いました。 ・知立市観光交流センターにおいて、ちりゅっぴが登場するイベントを開催しました。 ・ちりゅっぴチャンネルを開設し、YouTubeで知立市の観光スポット等について紹介しました。(2021年度～)	<b>【ちりゅっぴイベント参加件数】</b> 2017年度：11回 2018年度：10回 2019年度：17回 2020年度：6回 2021年度15回 (オンライン配信イベントも含む) <b>【観光交流センターのちりゅっぴイベント参加者数】</b> 2018年度：150人(※他の企画への参加者含む) 2019年度：七タイイベント55人、ハロウィンイベント71人、クリスマスイベント47人 <b>【ちりゅっぴチャンネル】</b> 観光動画投稿数：14本 登録者数：645人 合計再生数：9,529回(2022年11月24日時点)	・ちりゅっぴの出演機会を活用して、市内の観光スポットやイベントについてのPRを行えています。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、現地イベントが減少しましたが、オンラインでの情報発信に取り組むことができました。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、現地イベントに参加し、観光情報の発信に引き続き取り組みます。 ・SNSやYouTubeを活用し、イベント時以外にも知立市の観光資源を紹介していきます。
	◆行政	経済課	・イベントへ参加し知立市のPRを行いました。 ・知立市観光交流センターにおいて、ちりゅっぴが登場するイベントを開催しました。 ・ちりゅっぴのイラスト使用承認や着ぐるみの貸し出しを行いました。 ・ちりゅっぴチャンネルを開設し、YouTubeで知立市の観光スポット等について紹介しました。(2021年度～) ・ちりゅっぴグッズの作成を行い、観光交流センターで販売しました。(2021年度～)	<b>【ちりゅっぴイベント参加件数】</b> 2017年度：11回 2018年度：10回 2019年度：17回 2020年度：6回 2021年度15回 (オンライン配信イベントも含む) <b>【観光交流センターのちりゅっぴイベント参加者数】</b> 2018年度：150人(※他の企画への参加者含む) 2019年度：七タイイベント55人、ハロウィンイベント71人、クリスマスイベント47人 <b>【ちりゅっぴチャンネル】</b> 観光動画投稿数：14本 登録者数：645人 合計再生数：9,529回(2022年11月24日時点) ・ちりゅっぴグッズ(4種)を作成し、2021年1月から観光交流センターでの販売を開始しました。	・ちりゅっぴの出演機会を活用して、市内の観光スポットやイベントについてのPRを行えています。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、現地イベントが減少しましたが、オンラインでの情報発信に取り組むことができました。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、現地イベントに参加し、観光情報の発信に引き続き取り組みます。 ・SNSやYouTubeを活用し、イベント時以外にも知立市の観光資源を紹介します。 ・ちりゅっぴグッズを新たに作成し、来訪者にお土産として手に取っていただけるよう努めます。



方針	基本方針(3)来訪者の満足度を高めるおもてなしの体制づくり	基本方針の内容と展開する施策
取組主体	行政（企画政策課、経済課、都市計画課、まちづくり課、都市開発課）	施策の展開による来訪者の増加を一過性のものとせず、継続させていくためには、繰り返し訪れるリピーターを増やしていく必要があります。来訪者の満足度を高め、リピーターを増やしていくために、魅力的な観光資源の磨き上げや、来訪者と交流しつつサービスを提供するおもてなしの体制づくりに資する施策展開します。
	観光協会、商工会、市民団体、観光関連事業者、商工事業者	

※取組主体のうち、策定時のアクションプランで主な取組主体とされてる団体については、◆を付記。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
<b>(1)おもてなしの拠点整備</b> ・来訪者の細かなニーズに対応する観光案内所の整備 ・観光協会の独立及び組織機能の充実	◆行政	経済課	・知立市観光交流センターを設置しました。 (2018年度～)	<b>【知立市観光交流センター来館者数】</b> 2018年度：2,502人 2019年度：2,160人 2020年度：1,228人 2021年度：2,534人 ・2020年3月9日から2020年5月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館しました。 ・2018年度の開館から来館者数は減少しましたが、2021年度においては御宿印の配布があったため、2018年度に比べ、約1%増加しました。 ・フリーWi-Fi・ウォーターサーバー・防犯カメラの設置（2021年度～） ・市刊行物の販売開始（2020年度～） ・土産品の販売開始（2021年度～）	・知立市観光交流センターを設置したことで、来訪者に対して細やかな観光案内ができるようになっていきます。 ・フリーWi-Fiの設置やウォーターサーバーの設置、土産品販売など、利用者のニーズに沿った設備を導入できています。 ・観光協会の独立に向けての取組は行えていません。	・知立市観光交流センターについて、指定管理者制度を導入し、さらなる機能の充実を図ります。 ・観光協会の独立について、改めて検討します。
	観光協会		・特になし	・特になし	・観光協会の独立に向けての取組は行えていません。	・観光協会の独立について、改めて検討します。
<b>(2)観光関係者の担い手育成</b> ・かきつばた園や花しょうぶ園の維持管理に係るボランティアの育成 ・より多くの来訪者に対応できる体制づくり	◆観光協会		・特になし	・特になし	・かきつばた園や花しょうぶ園を維持していくための担い手の育成は重要ですが、ボランティアの育成については取り組めていません。 ・八橋旧蹟保存会、知立公園花菖蒲育成会の抱える課題を聞き、ボランティアの育成について取り組んでいく必要があります。	・八橋旧蹟保存会、知立公園花菖蒲育成会の抱える課題を明確にし、ボランティアの育成について取り組みます。
	◆市民団体		<八橋旧蹟保存会> ・八橋旧蹟保存会会員は、八橋町内会の役員で構成されており、年に2人、八橋旧蹟保存会会員として加入することになっています。（規約あり） ・年に3、4回、講師を呼んで八橋の歴史やかきつばたの育成方法についての研修を行いました。（2018年度～）	<八橋旧蹟保存会> <b>【会員数】</b> 2017年度：44名 2021年度：41名 ・実働人員は約30名です。	<八橋旧蹟保存会> ・会員の高齢化に伴い、作業時や史跡八橋かきつばたまつり開催時に人手が不足しつつあるため、ボランティアの育成について検討していく必要があります。 ・八橋のかきつばたについて、関心を持ってくれる地域の人を増やしていく必要があります。	<八橋旧蹟保存会> ・会員の意見も踏まえうえて、市や観光協会とボランティアの募集・育成について取り組んでいきたいと考えています。 ・かきつばたの育成について、西三河農業改良普及課等と連携し、会員の知識や技能を向上させていきたいと考えています。

施策の内容	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
	◆市民団体		<p>&lt;知立公園花菖蒲育成会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立公園花菖蒲育成会の会員は、西町町内会役員と西町の有志、知立神社の氏子総代で構成されています。</li> <li>・町内会の会合の際に知立公園花菖蒲育成会への加入を呼びかけました。</li> </ul>	<p>&lt;知立公園花菖蒲育成会&gt;</p> <p>【会員数】</p> <p>2018年度：42人</p> <p>2021年度：35人</p> <p>※2020年度に、活動に参加できるか個々の会員に意向を聞いたため、人数が減っています。</p>	<p>&lt;知立公園花菖蒲育成会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の協力もあり、通常の作業は行っていますが、以下の作業については人手が足りない状況です。</li> <li>・2月～3月の除草作業</li> <li>・6月末～7月の株分け作業</li> <li>・知立公園の花しょうぶの育成に関心を持ってくれる人を増やす必要があります。</li> </ul>	<p>&lt;知立公園花菖蒲育成会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の意見も踏まえうえて、市や観光協会とボランティアの募集・育成について取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
			<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に7～8回、弘栄会の会合があり、行事等の予定について会員に情報共有しています。</li> <li>・弘栄会の主な会員は弘法山遍照院周辺の商店の方で、現在の会員数は53です。2017年度～2021年度までの間に会員数は約7減少しました。</li> <li>・多くの来訪者に対応できるようにするには会員数を増やす必要がありますが、遍照院周辺の店も減少してきているため、新規会員の獲得が困難です。</li> </ul>	<p>&lt;弘栄会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規会員の獲得や、行事開催時の協力体制について、会で検討していきます。</li> </ul>
			<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立まつりを有効な観光資源と捉え、山車を「有形文化財」奉納行事を「無形文化財」として位置付けて、まつり関係者は「保存継承」を目的に、観光関係者は「文化財を活用した観光振興」といった捉え方で取り組む必要があると考えています。</li> <li>・また、神社周辺及び境内の雑踏警備、まつりの案内やPRなどおもてなしのための本部設置など、観光客への対応や対策は祭礼惣代で実施するには限界があり、行政の支援が必要です。</li> </ul>	<p>&lt;知立まつり関係者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立まつりの捉え方について行政や観光協会と意識のすり合わせを行います。</li> <li>・行政や観光協会と連携し、多くの来訪者に対応できるような仕組みづくりについて、五か町内でも協議しながら進めていきます。</li> </ul>
	行政	経済課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かきつばた園や花しょうぶ園を維持していくための担い手の育成は重要ですが、ボランティアの育成については取り組めていません。</li> <li>・八橋旧蹟保存会、知立公園花菖蒲育成会の抱える課題を聞き、ボランティアの育成について取り組んでいく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八橋旧蹟保存会、知立公園花菖蒲育成会の抱える課題を明確にし、ボランティアの育成について取り組みます。</li> </ul>



施策の内容	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
<b>③観光ガイドボランティアの育成</b> ・観光ガイドボランティアの育成及び利用促進のためのPR ・ボランティアガイドによるスポット解説付きのウォーキングイベントの開催	◆観光協会		・「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」を開催しました。(2018年度～) ・知立市観光ガイドボランティアの利用について、知立市観光協会のホームページに掲載しました。	<b>【ツアー開催回数(延べ人数)】</b> 2018年度：12回(118人) 2019年度：9回(89人) 2020年度：1回(6人) 2021年度：3回(25人) ・2019年3月から2021年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響によりツアーの中止や参加人数の制限を行いました。	・ぶらっとツアーにより、市内外の方に対して知立市の歴史について知っていただく機会を提供できています。	・ぶらっとツアーを引き続き実施します。 ・知立市観光ガイドボランティアの会と連携し、利用促進のためのPRを行います。
	◆市民団体		<知立市観光ガイドボランティアの会> ・行政と連携して養成講座を実施し、新規会員を育成しました。 ・ガイドの事前練習等、会員の相互研修を行いました。 ・行政と連携し、「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」、「わくわくをーキング」を実施しました。 ・個別テーマ研修を行いました。	<知立市観光ガイドボランティアの会> ・隔年で新規会員を募集する養成講座を開催し、多数の会員を募ることができました。 <b>【受講者数(翌年度新規会員)】</b> 2017年度：5人 2019年度：3人 2021年度：12人 ・経済課と、「ガイドとまち歩き 知立ぶらっとツアー」を開催しました。(2018年～) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止になった回もありましたが、2018年度～2021年度の間に全41回の企画を行う ・池鯉鮒散歩みち協議会主催の「わくわくウォーキング」へ開催協力しました。 ・各年テーマを設定し勉強会を開催した。 ・原則月1回の例会後、「家康」「松並木」等のテーマを設定し、勉強会を行いました。	<知立市観光ガイドボランティアの会> ・人材確保及び育成ができています。 ・イベント開催等でガイドを実践し、魅力の発信能力の向上が図れました。 ・勉強会や研修により、テーマとして取り上げた場所の周辺情報について深堀・共有化が図れました。	<知立市観光ガイドボランティアの会> ・今後も行政と連携して講座を実施し、人材の確保に努めます。 ・知立市の観光についての魅力を伝える事が出来るよう、拠点説明のデータベース化を推進していきます。 ・ウォーキングイベントやまつりへ積極的に参加します。 ・知立市の観光資源について、テーマの掘り起こしを行い、ガイドレベルの向上を図ります。
	行政	経済課	・隔年で観光ガイドボランティアの養成講座を行いました。(2017年度・2019年度・2021年度) ・「ガイドとまち歩き池鯉鮒ぶらっとツアー」を開催しました。(2018年度～) ・知立市観光ガイドボランティアの会の定例会及び年1回の懇談会に出席し、連絡調整等を行いました。(2017年度以前～) ・知立市観光ガイドボランティアの会からの要望に基づき、ガイドを行う際の資料や観光施設との調整を行いました。(2017年度以前～) ・愛知県が取りまとめた旅行会社に提供する「企画カード」へ、観光ガイドボランティアについて記載し、利用の促進を図りました。(2020年度～)	<b>【養成講座受講者数】</b> 2017年度：6人 2019年度：2人 2021年度：11人 <b>【ぶらっとツアー開催回数(延べ人数)】</b> 2018年度：12回(118人) 2019年度：9回(89人) 2020年度：1回(6人) 2021年度：3回(25人) ・2019年3月から2021年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響によりツアーの中止や参加人数の制限を行いました。	・観光ガイドボランティア育成のための養成講座を実施し、新規会員の確保について取り組んでいます。 ・知立市観光ガイドボランティアの会からの要望に基づき、ガイド上必要な資材の調達、観光案内場所との調整等について支援を行っています。 ・ぶらっとツアーにより、市内外の方に対して知立市の観光スポットや歴史について知っていただく機会を提供できています。	・養成講座とぶらっとツアーを引き続き実施します。 ・知立市観光ガイドボランティアの会と連携し、利用促進のためのPRを行います。

施策の内容	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
<b>(4)来訪者の満足度向上</b> ・個人客向け体験プログラムの紹介・予約サイト等への掲載支援	◆行政	経済課	・特になし	・特になし	・体験型プログラムの発掘から行う必要があります。	・体験プログラムの発掘・作成後、「西三河ぐるっとナビ」や知立市観光協会のホームページ等に情報を掲載します。
	◆観光協会		・特になし	・特になし	・体験型プログラムの発掘から行う必要があります。	・体験プログラムの発掘・作成後、「西三河ぐるっとナビ」や知立市観光協会のホームページ等に情報を掲載します。
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	商工会		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	商工事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
<b>(5)来訪者にとってストレスのないアクセス環境の整備</b> ・案内板の設置やカラー舗装等、ルートがわかりやすい案内表示の整備 ・駐車場の整備及び駐車場へのアクセス案内の充実 ・イベント時における最寄駅からのアクセス整備	◆行政	経済課	・知立駅前に知立市観光交流センターへの案内板を設置しました。 ・知立公園駐車場の整備を行いました。	・知立市観光交流センターの案内板を設置しました。(2018年度) ・知立公園駐車場に、トラロープを張って駐車枠を作りました。(2018年度) ・知立公園駐車場(西町公民館裏)に、輪留めを設置しました。(2017年度)	・新しく施設ができた際の案内板設置や、既存の駐車場の整備については適宜行っています。	・引き続き、駐車場や案内板の整備を行います。 ・花園里線の開通にあわせて、かきつばた園への案内板を設置します。
		都市計画課	・散歩みちに案内看板や車止めを設置しました。	【車止め設置】 2021年度：1基(猿渡川) 【案内看板設置】 2017年度：1基(知立神社) 2018年度：1基(無量壽寺) 2019年度：1基(東海道松並木)	・東海道宿場散歩みち案内看板について、散歩みち協議会にて内容やデザインを協議し、景観に配慮したわかりやすい看板を設置することができました。	・今後も必要性、安全性を加味し、車止めの設置等整備に努めます。
		まちづくり課	公共施設や観光施設付近にバス停を設置しています。	かきつばた祭りが開催される5月は、八橋かきつばた園バス停の利用者が他の月の倍以上に増加しています。 【2017年度】 4月：55人、5月：78人、6月：56人 【2021年度】 4月：23人、5月：44人、6月：29人	・観光で訪れる方が、知立駅からの移動手段として利用しています。	今後も引き続き運行を継続していきます。
		都市開発課	・特になし (知立駅周辺土地区画整理事業に基づく区画整理継続中)	・特になし	・特になし	・事業の範囲内で、施策を意識した整備を行っていきます。



施策の内容	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
	◆観光協会		・特になし	・特になし	・市と連携し、アクセス整備について取り組む必要があります。	・市と連携し、アクセス整備とわかりやすい案内ができるよう努めます。
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	商工会		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	商工事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
<b>(6)にぎわいを創出する活動主体の育成</b> ・にぎわいを創出するイベント等の担い手としての活動主体の育成	◆市民団体		<p>&lt;（一社）知立青年会議所&gt;</p> <p>・コロナ禍で困っている飲食店の応援として、「テイクアウトフェス」を開催しました。(2020年度)</p> <p>&lt;（一社）ゆめナビジャパン&gt;</p> <p>・知立ドリームイルミネーション実行委員会をきっかけとして、2019年に（一社）ゆめナビジャパンを設立しました。イベント等で活躍できるよう高校生や一般市民ボランティアも募集し、知立ドリームイルミネーションにおいて市内在住の高校生たちに一部分を任せ開催しました。</p>	<p>&lt;（一社）知立青年会議所&gt;</p> <p>・計4回、感染対策を行いながら、それぞれ開催地を変えて開催しました。各15店舗ほどに出店してもらい、参加者数は集計していませんが、各回にぎわいの創出ができました。</p> <p>&lt;（一社）ゆめナビジャパン&gt;</p> <p>・学生たちが主体となって電球の装飾を行なうことにより、達成感や責任感を感じてもらうことができました。また、「小学校おやじの会」や「とーちゃん会」との繋がりができたことにより、よいとこ祭りなどの協力にもつながりました。</p>	<p>&lt;（一社）知立青年会議所&gt;</p> <p>・少しでも飲食店の応援ができたものと考えています。</p> <p>&lt;（一社）ゆめナビジャパン&gt;</p> <p>・学生の参加人数が増加傾向であり、参加希望者が増えています。</p>	<p>&lt;（一社）知立青年会議所&gt;</p> <p>・コロナ禍で青年会議所としてできることを考え、行ったものであるため、今後の定期的な開催は考えていません。</p> <p>&lt;（一社）ゆめナビジャパン&gt;</p> <p>・ボランティア活動を通じて、知立市や地域活動へ興味を持つ人材へと育まれるよう、引き続き若い世代の育成に努めます。</p>
			<p>&lt;寺の市&gt;</p> <p>・2017年に弘法発展会が市の運営を引き継ぎました。</p> <p>・寺の市のスタッフは約30人（実働20人程度）、弘法発展会を中心に、2019年から入ったスタッフやボランティアスタッフにより運営してきました。</p> <p>・毎月寺の市役員会議を開催し、打合せを行っています。</p> <p>・スタッフが自由に意見を言える環境づくりに取り組みました。</p> <p>・高校生や寺の市への参加学生のアイデアを取り入れ、若者の参加者を募りました。</p>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <p>・スタッフの意見を取り入れることで、出店者数・来場者数ともに増やすことができました。</p> <p><b>【寺の市出店者数】</b></p> <p>2017年度：30～40店舗</p> <p>2021年度：90～100店舗</p>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <p>・出店者数、来場者数ともに増加傾向にあり、出店者・来場者・主催者にとって満足度の高いイベントができています。</p> <p>・スタッフの新たな発想や意見を取り上げることで運営方法の改善に取り組んでいます。</p>	<p>&lt;寺の市&gt;</p> <p>・今後もスタッフの意見を取り入れ、寺の市が主催者・出店者・来場者にとって楽しいものとなるように運営をしていきます。</p> <p>・地域の学生や地域の人と手を取り、寺の市を開催できるよう取り組んでいきます。</p> <p>・今後の課題として後継者の育成に取り組む必要があります。</p>

施策の内容	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
	行政	経済課	・特になし	・特になし	・2021年度時点では実績がないため評価できませんが、知立駅周辺整備事業の進展にともない、官民連携でにぎわいづくりについて取り組んでいくべきと考えています。	・知立駅前暫定広場の利用について広く周知し、活動場所の提供について支援していきます。 ・2022年度から、知立駅周辺プラットフォームの構築に向けた事業を実施し、官民が連携したにぎわいの創出を図ります。
	観光協会		・特になし	・特になし	・2021年度時点では実績がないため評価できませんが、知立駅周辺整備事業の進展にともない、官民連携でにぎわいづくりについて取り組んでいくべきと考えています。	・知立駅前暫定広場の利用について広く周知し、活動場所の提供について支援していきます。 ・2022年度から、知立駅周辺プラットフォームの構築に向けた事業を実施し、官民が連携したにぎわいの創出を図ります。
<b>(7)にぎわいのある空間づくり</b> ・空き店舗や空き家を活用した飲食店などの誘致 ・若者のチャレンジショップ、手作り小物販売、露店誘致等による弘法命日のにぎわいの復活	◆商工会		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	◆市民団体		<（一社）知立青年会議所> ・特になし	<（一社）知立青年会議所> ・特になし	<（一社）知立青年会議所> ・特になし	<（一社）知立青年会議所> ・知立市議会の高校生議会からの要望をうけ、定期試験期間に遍照院の部屋で高校生を対象にした学習スペースの運営を行っています。(2022年度) ・継続的に運営を行うには運営ボランティアを募る等、人材の確保が必要だと考えています。
			<弘栄会> ・特になし	<弘栄会> ・特になし	<弘栄会> ・取組を行っていないため、評価は困難ですが、遍照院や寺の市、知立市や知立市観光協会と連携し、弘法命日のにぎわいづくりに取り組んでいくことは必要だと考えています。	<弘栄会> ・遍照院や寺の市、知立市や知立市観光協会と連携し、弘法命日のにぎわいの復活に向けて取り組んでいきます。
			<寺の市> ・2017年から運営を引き継ぎ、原則毎月第3日曜日に寺の市を開催しました。 ・千燈供養祭や人形供養祭にも新たに参加しました（2021年度～）。	<寺の市> 【寺の市出店者数】 2017年度：30～40店舗 2021年度：90～100店舗 ・2019年に開催場所を遍照院境内に移し、寺の市を原則毎月第3日曜日に開催しました。 ・千燈供養祭、人形供養祭、弘法山を写す会との合同開催を行いました。（2021年度～）	<寺の市> ・スタッフの意見を取り入れ、運営方法等を見直したことで、出店者・来場者ともに増加しています。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度・2021年度については寺の市を中止にしたこともありましたが、アルコール消毒の徹底、マスクの着用、検温等の対策をとって寺の市を開催できています。 ・従来の毎月第3日曜日だけではなく、千燈供養祭や人形供養祭など、遍照院の行事にも寺の市として参加参加し、新たなにぎわいを作ることができました。	<寺の市> ・新型コロナウイルス感染症対策を取り、「主催者・出店者・お客様が楽しく」をモットーに、寺の市を継続していきます。 ・今後、遍照院の行事と合同でイベントを開催できないか、関係者と調整していきたいと考えています。



施策の内容	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
	商工事業者		〈知立市商店街連合会〉 ・基本発展会に所属している事業者は商工会にも所属しているため、商工会の会員としてかつてチャレンジショップなど取り組んでいた事業者はあったかもしれませんが、連合会としては特に実績はありません。	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし	〈知立市商店街連合会〉 ・特になし
	観光協会		・特になし	・特になし	・空き家等を活用した飲食店などの誘致や、弘法命日の露店誘致については取り組めていません。 ・知立駅前暫定広場を活用したにぎわいづくりについて、今後積極的に取り組んでいく必要があります。	・にぎわいづくりが図られるよう、知立駅前暫定広場をはじめとした活動場所の提供について支援していきます。 ・2022年度から、駅前暫定広場を活用したにぎわいづくりの事業を実施します。
	行政	経済課	・特になし	・特になし	・空き家等を活用した飲食店などの誘致や、弘法命日の露店誘致については取り組めていません。 ・知立駅前暫定広場を活用したにぎわいづくりについて、今後積極的に取り組んでいく必要があります。	・にぎわいづくりが図られるよう、知立駅前暫定広場をはじめとした活動場所の提供について支援していきます。 ・2022年度から、駅前暫定広場を活用したにぎわいづくりの事業を実施します。
		企画政策課	・知立遍照院マルシェ寺の市において、愛知大学地域貢献団体ACCOMPANYの学生が自主事業として、知立散策マップ及びコーヒー粉を再利用した消臭剤を配布しました。（2021年度）	・コーヒー粉を再利用した消臭剤は市の市の開始から1時間程で配布が終了し、知立散策マップにおいても数多く配布することができました。	・知立散策マップには市内14のスポットや事業所が掲載されており、市内の魅力発信や市内事業所のPRに繋がったと考えています。また、コーヒー粉を再利用した消臭剤においては、寺の市の開始から1時間程で配布が終了してしまうほど人気であったことから、市内のにぎわいづくりに繋がったと考えています。	・今後も引き続き、にぎわいづくりに寄与する事業や学生と連携した事業の実施について検討を行います。
(8)売茶流の展開による来訪者へのおもてなし ・飲食店等の連携による売茶流の煎茶の提供 ・来訪者への煎茶のふるまい	◆観光協会		・特になし	・特になし	・売茶流の煎茶の提供には、売茶流に知見のある方の協力が必要です。実現可能なことを検討する必要があります。	・飲食店での売茶流煎茶の提供には、商工会や飲食事業者、売茶流関係者との調整が必要です。 ・煎茶を提供する際、方巖売茶翁や売茶流について理解を深めてもらうための工夫について検討します。
	行政	経済課	・知立市観光交流センターで、期間限定で来訪者に煎茶をふるまいました。（2021年度）	・観光交流センターを訪れた方に対して、方巖売茶翁について知っていただくことができました。	・観光交流センターでの煎茶のふるまいは、予算等の兼ね合いから継続的な提供ができていません。 ・売茶流の煎茶の提供には、売茶流に知見のある方の協力が必要です。実現可能なことを検討する必要があります。	・飲食店での売茶流煎茶の提供には、商工会や飲食事業者、売茶流関係者との調整が必要です。 ・煎茶を提供する際、方巖売茶翁や売茶流について理解を深めてもらうための工夫について検討します。
	商工会		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	商工事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			

方針	基本方針(4)観光ニーズに合った物産の開発と提供	基本方針の内容と展開する施策
取組主体	行政（企画政策課、経済課）	来訪者の「見たい」「食べたい」「買いたい」を満たし、来訪に対する満足度を高めるため、各種の物産を開発し、提供していくための施策を展開します。
	観光協会、商工会、市民団体、観光関連事業者、商工事業者、JAなど	

※取組主体のうち、策定時のアクションプランで主な取組主体とされてる団体については、◆を付記。

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
<b>(1)魅力的な食の提供</b> ・かきつばた園にちなんだ食の開発及びPR ・煎茶を用いた食の開発とPR ・学生との協働及び活用	◆行政	経済課	・特になし	・特になし	・魅力的な食の開発について取り組む必要があります。	・八橋かきつばた園周辺には飲食店が少なく、来訪者に魅力的な食を提供するのは、満足度を高めるにあたり重要な課題と言えます。 ・商工会や市内の飲食店、八橋旧蹟保存会等の関係団体と食の開発に取り組めます。
	◆観光協会		・特になし	・特になし	・魅力的な食の開発について取り組む必要があります。	・八橋かきつばた園周辺には飲食店が少なく、来訪者に魅力的な食を提供するのは、満足度を高めるにあたり重要な課題と言えます。 ・商工会や市内の飲食店、八橋旧蹟保存会等の関係団体と食の開発に取り組めます。
	観光関連事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	商工会		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			
	農業従事者		<アグリ知立> ・市の「まちなか農知プロジェクト」と連携し、「米caféルポ」を立ち上げ、知立市産の農産物を使用した食事などを提供しています。 (2019年度～)	<アグリ知立> ・「米caféルポ」にて、新しい農産物を使ったメニューを開発し、市や他市のイベントで販売しました。	<アグリ知立> ・知立市産の農産物を使用した食の開発・提供について取り組んでいます。	<アグリ知立> ・今後も、知立市産の農産物を使用した食の開発について取り組めます。
	商工事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。			



施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
<b>(2)魅力的な土産品の提供</b> ・かきつばた園にちなんだ土産品の開発及びPR ・かきつばたや金魚椿の鉢花の販売 ・知立の魅力を活かした物産を使用した土産品の開発と駅前や弘法命日での販売の支援 ・新たな特産品の募集 ・官学民相互の連携による新たな物産、土産品の開発 ・ちりゅっぴ関連グッズの拡充 ・主要都市等における物産展への参加	◆商工会		・愛知県商工会連合会及び知立市から幹旋の各種物産展等の参加提案を行いました。	・2017年度から県営小牧空港「まるっ」とあいち」に1事業者は出品を続けています。	・事業者のブランド力向上に繋がりました。	・今後も引き続き、愛知県商工会連合会及び知立市から幹旋の各種物産展等の参加提案に努めます。
	◆市民団体		<（一社）ゆめナビジャパン> ・特になし	<（一社）ゆめナビジャパン> ・特になし	<（一社）ゆめナビジャパン> ・特になし	<（一社）ゆめナビジャパン> ・ちりゅっぴソフトやかきつばたソーダ、ちりゅっぴソーダなどについて、市内の飲食店へ提案をし、引き続き知立市の新名物の開発に取り組めます。
			<知立公園花菖蒲育成会> ・特になし	<知立公園花菖蒲育成会> ・特になし	<知立公園花菖蒲育成会> ・取組を行っていないため、評価はできません。	<知立公園花菖蒲育成会> ・経済課や観光協会、知立神社と、土産品の作成について検討します。
			<知立まつり関係者> ・特になし	<知立まつり関係者> ・特になし	<知立まつり関係者> ・土産品として作成したものはなく、評価は困難です。	<知立まつり関係者> ・今後、知立まつりを観光資源としてPRしていくのであれば、行政・観光協会・まつり関係五カ町が協力して、土産品の作成について検討する必要があります。
			<八橋旧蹟保存会> ・史跡八橋かきつばた祭りにおいて、抹茶茶碗を販売しました。（2017年度以前～2021年度。2020年度は新型コロナウイルス感染症により中止）	<八橋旧蹟保存会> ・史跡八橋かきつばたまつりの来場者に土産品を提供できました。	<八橋旧蹟保存会> ・茶碗の制作コストと売り上げが見合わず、茶碗の制作は2019年度が最後になっています。 ・八橋旧蹟保存会独自に土産品を開発することは、資金的な面で難しいと考えています。	<八橋旧蹟保存会> ・経済課や観光協会、土産品の作成について検討します。
商工事業者		・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。				

施策と取組の具体例	取組主体	関係課	取組内容	成果	評価	今後の方向性
<b>テーマ共通</b>						
	行政	企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知大学地域貢献団体ACCOMPANY、知立市まち・ひと・しごと・創生若手職員プロジェクト委員及び藤田屋の産学官連携で大あんまきの新商品開発を行いました。（2018年度）</li> <li>・愛知大学地域貢献団体ACCOMPANYの学生と連携してちりゅっぴスタンプ初の動くスタンプを作成しました。（2019年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した新大あんまき3種類を愛知大学の学園祭で販売し、その内の1種類（クリーム&amp;オレオ）は、現在も藤田屋本店で販売されています。</li> <li>・ちりゅっぴ初の動くLINEスタンプについては、学生自ら「ピッチスクエアまちのまど」等のラジオに電話出演し、PRしていただきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立市の特産品「大あんまき」の新商品開発は、産学官連携事業として多くのマスメディアに取り上げられたことで、市のPRに繋がったと考えています。</li> <li>・ちりゅっぴ初の動くスタンプを作成し、ラジオ等でのPRを行ったことで、若者に知立市を知ってもらおうきっかけになったと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き魅力的な土産品について研究し、事業実施の検討を行います。</li> </ul>
		経済課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちりゅっぴグッズを作成し、観光交流センターで販売しました。（2021年度～）</li> <li>・新たな特産物となるよう、マコモタケやキャッサバなどの農作物の生産に取り組みました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなちりゅっぴグッズを4種作成し、観光交流センターで販売しました。（2021年度～）</li> </ul> <p><b>【2021年度売上実績（作成数）】</b></p> <p>タンブラー：93（100）  エコバッグ：47（60）  マスクングテープ：96（300）  ふせん：51（200）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マコモタケやキャッサバなどの生産について、農家等の関係者と取り組み、試食会などを開催しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちりゅっぴ関連グッズの拡充については、順調に取り組んでいます。</li> <li>・新たな特産物を作れるよう、取組を進めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きちりゅっぴ関連グッズを拡充し、観光交流センター等で販売を行います。</li> <li>・かきつばた園や市内観光名所にちなんだ土産品等の開発については、関係団体と協議しながら進めます。</li> <li>・今後も農作物の生産について取り組んでいけるよう関係者と協議します。</li> </ul>
	観光協会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市から委託を受け、ちりゅっぴグッズを作成しました。（2021年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなちりゅっぴグッズを4種作成しました。</li> </ul> <p><b>【2021年度作成数】</b></p> <p>タンブラー：100  エコバッグ：60  マスクングテープ：300  ふせん：200</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な土産品の開発について、積極的に取り組む必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かきつばた園や市内観光名所にちなんだ土産品等の開発については、関係団体と協議しながら進めます。</li> </ul>
	観光関連事業者		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。</li> </ul>			
	JA		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な取り組みや今後の取り組み予定はありません。</li> </ul>			
	農業従事者		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな特産物となるよう、マコモタケやキャッサバなどの農作物の生産に取り組みました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マコモタケやキャッサバなどの生産について、関係者とともに取り組み、試食会などを開催しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな特産物を作れるよう、取組を進めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も農作物の生産について取り組んでいけるよう関係者と協議します。</li> </ul>